きのふ軍の令部を訪問した内田満鐵線

關東軍司令部

下上添方酸における| 流川 | 地震の 出二班に別れ大久保子離外三名は 七日午前十一時出帆大連鬼にて南 七日午前十一時出帆大連鬼にて南

配合地域にて簡京の途についた、

在漏中の感想今後のが針についた。

次に大連丸に大久保子を訪ふさ同

江山滿體副總裁打七

年前十一時

上京用務其他常館の諸問題につき出入記者関この定候會見において

府縣議戰の結果

各派別の當選

日本で戦争の準備を始めたこ支

のだっ

時代さなつたが、その時にも和かうして明の永樂帝、即ち成祖

家の上には

三根

に十山口縣全部で熊本高知陳市及

次郎氏外四名は十時出帆内地定期に出發、同じく土方響懐土小橋轍

に関北を陸戦隊が占領した等無線。するさいつてたり蔣介森、蘇天仇かの如き書きぶりで之がため昨日 に慰明を養し又國際職態にし報告

【ハルビン特電七日製】支那軍閥

派に関し昨日來支那紙は大々的に

日本は戦争準備でもしてゐる

登前行為ななすものと趣び國際的語であるは戦争準備ださる日本は挑

民の生命財産保護のため軍艦者
たが、外交部は斯く多戦軍艦を派
上海特領七日韓国は本政府が居しな諸官隊はり多数認識する者あつ

の審な位で今米明入港せる職家隊、支突殿は二十四時間内に超るこので、支那側の驚惨。狙振りは氣、立文那人は逃げ出し又支那側に目ので、支那側の驚惨。狙振りは氣、立文那人は逃げ出し又支那側に目に海へ日登』南支の飛繋急なる一の水兵五、六名が支那兵器職割岸。

は、 くである、 師一部は既に新民屯府 の治安維持に離るべしさて金品の の治安維持に離るべしさて金品の

時局を奏上

邦人保護の為の

渡しを要求して來た、
なの黒龍江省政府に向け可及的急速に政權引
け可及的急速に政權引

張景惠氏

警備充實を中傷

支那側が國際的聲明を協議

日

我驅逐艦で

上海支那側狼狽

で航光の進し新民心、線州方面に で航光の進し新民心、線州方面に の低熱によればその数一千二三百 の低熱によればその数一千二三百

排日學生等影を潜む

苦悩の日を過ごしてゐる 苦悩の日を過ごしてゐる

てるた學生等も数を着めてゐる

黑龍

王軍敗殘兵

漸次西進

作相軍と合體か

一九路軍上海移駐

行動注目さる

、 大會は準備整はさるために本日 の中央非常會議において來る十一 の中央非常會議において來る十一

會議延期

南京を中心として政権の移動、軍隊の大移動でる厳東側の要求を飛びしたご解へらる、第十九将軍は十五日

郷したで解へらる、第十九路軍は十五日の兩省は第十九路軍(元廣東軍

された群介孫氏が三萬の大軍を上「て鬱滅せんさするためさもいはれ」 単郷三萬は四日附長海移駐を命せ「京、上派に懐入の意ありさ誤解し 【上海六日参】江西に在る十九路「海に集中しつつあるは日本軍の前

| 動は非常に注目されてゐる

漢口金融業者

對日取引斷絕

學良氏の妥協申込

韓三氏とも拒絶

日七

쨏

七、海龍附近には約四千名の支那 睡賊横行し居り同地方在住日本 人は吉林に引揚げか計畫もつゝ あり

に向け引揚を行つた は、南京在住日本婦人、子供、杭州、南京在住日本婦人、子供、杭州在住全日本人は上海 が、南京在住日本婦人、子供、杭州、漢

一、鐵道附副地域守備援助のため 大日附画際職盟理事會に點し左の 短き船兵に関する通告を送つた のはまれる通告を送った 各地派遣守備隊

所屬の根據地に歸澤

所屬根據地に歸還した百六十名は既にその

られてゐた鐵嶺守備 吉長線沿線に派遣せ

傷す

項化

旦る

3

と排日 はその所屬根據地に

が同地商務總會々頭は百五十名二、此等匪賊は鄭家屯た襲撃した 序な維持するな得た 序な維持するな得た

日本人の居住危險

で表記を表していた日登 | 國際職監支を提出したがその主なるものは左に難し四十一項の多数に上る通告である。の近くである。

と つかすに、対金城に在るさいふことで、それだけで は あるさいふこさだ。その 数金も手 を売れられて一千箇の縦を、所持の機を、所持の 旅行の目的 CID

| 電験、観宗帝の築いた粉、更、秋 | 電験、観宗帝の築いた粉、更、秋 | 大宗帝の郷い、たさへば大宗帝の別にを あり、一原で十五宮十五城、兵備がその四城、かういつたやうな城が

により 普通寺第

地もれたさいふこさは疑びのない。 常會の風疹を持つたまゝ、地中に ざつちみち和林さいふ大都會が

金いふ有様となってよったか? 一般が、その結果にしる一部にして 地り、その結果にしる一部にして 地り、その結果にしる一部にして であり、何處かの大洋に地震が でいる説も有力なのだ。 こいふ説も有力なのだ。 一さいふ説が有る でいる説も有力なのだ。 一次にも一部にして でいる説も有力なのだ。 まール強は、今し致を持ちつくけ てあるが、その間に禁薬を誇って は、黄金城をはどめこし、十五城 十五城その他の遊物と、大井高の 作民諸共、全く姿を消してない。 て居り、蒙古部深がほんの沙数、 でなれる一大噺野さなつ 監在してゐるばかりさいふ、 ! 書映大るけかび呼に魂の性女全本日! 錄記の實現なうやむ冷の血 說小評好大載連聞新都 ●作原秋千村下 ●品作特超期秋部劇代現活日

、南京を

界 水 鈴 人行管 给代容本城 人夠稱 那太住下山 人侧印 地第一册则团公庭市逐大 對祖山湖高柱合式楼 所行機

聯盟理事

及したが支那側に一般に恐怖を起 時局問題討論の際も軍艦派遣に論 一、第日銀道沿線に集中でられた。 選道が帰地域守備援助のため 派遣せられた朝鮮大隊は でいた 一、銀道が帰地域守備援助のため 大石橋守備隊所屬の

六日職監理事會に滿洲事態に関し

之にて彼我金融關係は完全に認然に取引を膨緩する冒通告し來つた

工會等支那鄉金融業者[本日正式工會等支那鄉金融業者[本日正式工會等支那鄉金融業者[本日正式工會經業

引渡 獨立宣言の張海鵬氏 を要求

古獨立運動は飲々時點にする模構と から極度の懸迫を受けてぬた蒙古 に 大阪に 二千の蒙古軍隊を組織した 大阪に 二千の蒙古軍隊を組織した 大阪に 二千の蒙古軍隊を組織した から極度の懸迫を受けてぬた蒙古 に 兩派暗鬪の結果 が不利な立場になり張氏の逃亡説が不利な立場になり張氏の逃亡説が

万法で公表する 、穫を何等か

> 蛇 角

の監禁院に黙し各方配よりの調査

農議は土方寧博士語る 内地人は滿洲實情に疎い

職業國内閣組織の建想、英國の後職外租赁の課題、次で内閣維維 概認。さてごんな家が飛び出すか その和林や黄金城が窓然姿を選 國のピョート目論む、此れは世界不敬無打牌の 得ない。 そく以て驚かざるな ここなのだ。

此人いよく、世界にフーヴァ

百種懸案

日鼻をつけた

江口滿鐵副總裁談

概談、さてごんな家が飛び出すか その和林や黄金殿が総数を選 したのは、明の永樂帝沙後であつ 英山 は歌なる蒙古の都となり、首都で まきまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになった。 ときまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになった。 ときまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになった。 ときまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになった。 ときさきまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになったのだ こうまる、共綿果は父世界の大職 し少しも我へす、元城が盛んになったの こう

だ。るさ共に、

からいふここを登表してる で会は今回支壁の沙漠の中に埋突 をたる撃古の古都和林の膨緩養紙 で会は今回支壁の沙漠の中に埋突 も和林發掘の、

それで先刻も話したやう alomethyl for Sports スポーツ葉や・ を突いた」「打身をした」「關節が 痛む」といふやうなとき最 便で効果的な療法 照り込めばよい サロメチー B 450

金融方面の非常なエキス |哈剌和林

を十前の

103 Ξ

時大連藩外着の豫定

同海院議人 出

督監敬田岡❷作特部劇代時活日 化畵映回三第作原郎五家廼我曾

島附近一帯の暴威警報が登せられ 機能を続けて来たが、七日午前八 機能を続けて来たが、七日午前八

度も低上する管である、低しこのは高無態の、衛上は高低麻無態の

六日以來の天候は晴れては熱り、

り滿洲方面へ進んで來たため陸上

悲しみの埠頭

※即は流骨を安置した祭壇) ※即は流骨を安置した祭壇)

五百名突破

大連民政署の調査

兩高女運動會

の四人組馬城押入り賣り鑑金、金十五圓餘な雅ひ逃走とた『長春電

プ稼ぎが

黄海北部へ進行してないに新聞が山東出

の特徴で、これことう

(日曜木)

H

市内各學校代表生徒は学壁に、そ発ざ市民の大学は単誠に集つた、

遺品《納

持ち歸

護衞の芦原少尉談

れた三十二の英麗は飛ざ塵な「煙が今更もの悲しい、この時市中戦に艶かに送るのだ、紫塵に「概に安置される、供鯵の花嚢、鶩

の他はペラングに、屋上は町内旗 の概立、秋風にハタめいてゐる紋 の現送り人だ、かくて英鑑は 板に安置される、供物の花屋、香杯に安置される、供物の花屋、香 先導のもさに荒原少い

英盤を送るべく電大な低物を帯びた時間や駅は出幌に先だち淡痛な電解で語る

す、熊川少尉なはどめいづれも の箱に収め一緒に持つて参りま 時計の類も一まごめにして白木 時計の類も一まごめにして白木

の地に壯烈な戦死を遂げた三十二勇士の遺骨は七日哀しくも白 に磨えてくれる事だらう、この日 もシーンこして何と云ふ物しづか接して次々に薩理する市民の赤誠 僧侶の讃椒が初まる、攪蝓も織中 遠い異國 を対した香港地は潜る様に影響が関る、最後にトライエンデンの終了した香港地は潜る様に影響が を離れた、同時に常訓生の吹奏

木八つの箱に収められ香港丸で懐しい故郷へ旅立つた

て一沫の哀愁が漂つてゐる、こゝは御國を何百里

尊き英震のとこしなへに満洲の地から離れる日、秋風飒々とし

花代值下 議論沸騰

世界野球選手

士權爭覇戰

アの危険器具に禁する取締を脱壁ではアルコールコンロ叉はラ

各業別に協議

覚を持ち寄つて決定家を練るこ っに各衆別に協議會を開き代表 -ジナルス軍勝つか或は

は六日午後一時代よりカ 一般然は対し しま

死んだ娘で

騙り損ふ

鮮娼の實父が

阿出 「會議出席

純天津產 栗卸 開 始

に窓勝してゐる『長春電話』 をなすこことなったが治療な受ける者門前に殺強し墓軍の熟悉に設 る者門前に殺強し墓軍の熟悉に設 がが無いる。 を放すこことなったが治療な受けせる。 を放すこことなったが治療な受けせる。 を放する。 をなずる。 をなななな。 をななな。 をなななな。 をなななな。 をなななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をなな。 をななな。 をなななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななななな。 をなななな。 をななな。 をななな。 をななななな。 をなななな。 をななななな。 をなななな。 をなななな。 をななななななな。 世二二二八三 に及んであることが短明、緊硬處 ・ 大連繁戸上巡査が取押へた、若は ・ 大連繁戸上巡査が取押。

S

登栗じ聞と乳母でつ補を分成のクルミナコや乳牛 すで品需必の養榮工人 すでのもるすに 製船数大・田鉾京東 堂 光

校校底に於てそれん。秋季運転會 が壁桜では十一日午前九時より同 が壁桜では十一日午前九時より同

提替口座大連一二三九番

滿中

蒙研究會

犬印に限る

天氣線報

五村、沙河口署

常内百十軒、水上 小崗子署管内二百

海務協會の舞 市内等内通三番整務總書順に かいるダンスキールは七日附関東 かいるダンスキールは七日附関東 たが燃製競勵は「本郷監書「津」 たが燃製競勵は「本郷監書「津」 たが燃製競勵は「本郷監書「津」

北西の風(晴)

政署の調査に

海増するが大連

大衆向の飲食

第五 囘競技大 後 會 拨 開 奉天毎日新聞社

人賞者二十等まで優秀賞品差 F ます J' 至十月廿五日 自十月 五日

長春に

一六名さなつてその一六名さなつてその一六名さなつてその

田博士歡迎會

干潮介午前

納本會年

上署管内六名、小崎子署管内六名、小崎子署管内六名、

たに谷中報記画五三数

九月上旬、速東戦會ご称する人交口科戦の研究會が組織されたが、同

会百四は二四一個四〇後 サふの小洋相場へ正午)

灰と共に市民の眞心に送ら 静かに さい りば き旅立

 (\square)

荷物引渡 張學良氏の 國際で荷造

佐藤忠氏惨殺の

人の被宗越だしく同地の一種選案 の好き 現場にされてぬたが、我兵 の好き 見く 関心 でもがく 駐屯して居て欲しいさ 就には所在に四五百名の股際兵争 お断に散在し機えたる底の如く記さ

支那女大火傷

寄

關東廳警務局長

酒精ランプで

眞相調査を要求

大橋總領事が鐘氏に

真相調査な要求し支那側よりの回点が大きなができません。

前に然て動物祭典を撃行するさ

一ルランプに駆火したま、アルコールランプに駆火したま、アルコールランプに駆火したま、アルコールランプに大事に変し、火は一酸に震いて大事に強傷を重び、火は一酸に震いて大事に至らんさしたが情防がつて大事に至らんさしたが情防がではアイルム等の燃燥物による火災事情観々さして趣るので大きな火災事情観々さして世るので大

7

蠅取粉

0

需要者各位へ謹告

から金を称き掛けん から金を称き掛けん

支那人も

被害甚大

内内に、支部事務所は東天圖書館内に於ける人女科学の研究報告述に所がある、同會の事業は満洲に於ける人女科学の研究報告述に

公太繁に随へる我軍の報告によれ でしておいに戦人のみならで支那 がしておいて歴り森に同地西がの 大官屯にある応敬兵の撃度最も観 がしておいて歴り森に同地西がの がしておいて歴り森に同地西がの

私感の家味道其を交附さ 輸かしてこれが荷造り さ慙情せしめた、

【率天電話】 スハレビンも日景』満畿ハルビン 事は外交代表域骸に対しこれが 事務所就佐藤忠氏が宏る九月十九 直相調査を要求し支那嶼よりの回事務所就佐藤忠氏が宏る九月十九 直相調査を要求し支那嶼よりの回

試合愈よ白熱化して

 $\frac{\Xi}{A}$

對零

軍勝つ

内吉野町廿一番地籍貨商収率成

失火罪で告發

本品の名は蠅取粉でありますが、蠅以外の南京虫。ノミ。シラミ。毛ジラミ。少女の頭のシラミ。蟻の羽虫。牛馬豚等の蠅蚊・シラミ。衣類書書の虫除等にも、絶対でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非小罐は衞生上必要な常備藥であります。一罐は衞生上必要な常備藥であります。

吉野町の火事

接戦

るに独った

は、 一本の大災は一ケ月前出火した際、 なの火災は一ケ月前出火した際、 ないかさ大連製品法院で駅では 中のさころ七日賞地徹底の放火では 中のさころ七日賞地徹底の放火では 中のさころ七日賞地徹底の放火では 中のさころ七日賞地徹底の放火では が流に積み酸1てあった十般性の が流に積み酸1てあった十般性の が大き、 地域に引火したことが実明、主人

イマヅ

殺師 東 東 別 粉

数取線香 今津

今津化學研究所

師出發

なるかさ全世界野球フアンの視感

軍が勝ち兩軍さも二勝二時 ク環場においてカ軍先女で懸行し デルフイヤのスポーツマンスパー デルフィヤのスポーツマンス 黑井技

極東阿片會議が行 病兵もなく手持無沙次であるため 第二帥戦の吉林出動野戦病院は 除 一般解放治療

鐵砲打ち檢學

波

咽耳 喉鼻

科醫院

坂橋ここ河処伊方の控除が村城南市内選城町遊脱朝鮮料理店第二選

もう冬仕度の

天氣模樣

大陸高氣壓が動く

一博士は七日

W香港丸にて出**教**

を見れば金銭を架要する壁砲打ち で見れば金銭を架要する壁砲打ち が紙値と、家庭の縁好に保険を乗 が紙値と、家庭の縁好に保険を乗 が紙値と、家庭の縁好に保険を乗

遭難戏克救助

酒 9 せい ず

界各國酒類 茶り漬のの サビ漬場詰 東京風菓子謹製 か びら 食 布噌 料 O 00 番入米玄

井波醻吉 西山西 日本各 90 Š 産

振替大連三三四八番電話九六四〇番

金町四

東京帝國大學教授 題大學發學部 野學部 系川 野學博士 高 木 薬學博士 日 村 野學博士 疆 湯

加醫

院

率全安·率虫排の群拔

蟲の気も ぬけてマクニン 康兒

お子様には

マクシゼリ

高官會支票等 影會大體 二可基建贡大



CAFE

內履物店

座

演開時五後午

場劇連大

沙河口勒商場 電九九七一番浪速町三丁目 電五七一八番

特種 費税 (A)

微收機關

、フーヴァー大統領が今夕大統領官邸で議會領袖と會見し其の 経集國際的協力に依る世界の景 、後式取引所が更に空賓り制限 、株式取引所が更に空賓り制限

事官より十月五二常地に選せる報とる教験について在上海機性問題を多した時間の比消那人核織製に及せ

要明について種々鳴とついあるが 要明について種々鳴とついあるが

支那新關稅の

8本質と現狀

紐育の株式

我上海貿易業者

成行を靜觀

事件突發以來殆ど受渡杜絕

支那側は儲けをみすり

四月万は契紋説の横出に上本民派職総略は

大連の特産各品 こく三日間の華商側損害

三十萬圓に達せん

おり勝介なもいたさの たるため窓に飛い

下野は最早時の簡

の突然の増

10,169,9 579.8 白眉豆

173.7 283.0 10.923.4 計豆豆與米 122,605.4 288.7 2.613.6 1.005.7 496,6 3,455.7 13,565.6 345.0 900.4 米米子 308.0 14.2 55.1 43.6 23.0 177.2 E6.4 57.2 176.2 79.3

子子子 827.6 57.A 360.5 穀粕 185.2 158.5 28,942,2 1.819.2 粕骨油 1,207.1 1,220,5 84.3 188.0 1468.6 487.1 其他ノ油類 2.169.2 77.9 6.0 674.9 1.265.2

落雜豆雜

哪

豆

期日銀柱 高調石版 **成製版所** 363.8

衛生設備完全に行届き南京虫の憂ひは絶對な を極めて氣樂に避られる を導二割引致します 館 0 特 器旅

安しないが、要するに建場省出

市區

昻

黄出 汽船株式 質町三〇

八會八八

二十三圓四十錢

公全公司

大

株(保合)

替

相場

七二一兩〇七二一兩〇七二二兩〇

天津行

前濱

神戸期米 前衛衛 前衛門 服 110名 12名 12名 10台

東京期米 東京期米 (元2) (元2)

| 大阪棉花 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500 | 1500

●横濱直行

風六十銭比率は一割 つきがせば左の

諸雜穀輸出

图

市理事者に考慮を促す

解退問

題

けふ午後、

辛島大連民政署長から

産 E

日八月十年

米大統領乘出す

最近の上海海運界

近く重要聲明發表か

大銀行家連ご秘密裡に會見

スま現在の不況が常楽に関し 養電によればニューヨークター 京特電七日襲】ニューヨークター

地となほ八佛八分の三高で大引け 地となほ八佛八分の三高で大引け その他の一流譜林は六佛/万至十五 様だな詩。

家畜の生産

極めて順調

內下牛期業績 大連民政署管

特產市況

地間仕送りあつた

月中の

等の定期は依然でして人会を有例の定期は依然でして人会を対して、 一月末 至(0 至)0 至(0 至)0

南京政府の滿洲事變對策

CF

京にて

G

順倉館、平沼正融勝長以下谷縣間、 天皇陛下親臨た師ぎ七十年前 十時より宮中東海間に開き、棚所 中東海間に開き、棚所

南、安保谷根以下國保官出席、先官、二上雜長、政府瞻若處、幣原

〇年、八月十六日調印)

はなる。

「ない」という。

「ない」という。
「ない」という。

「ない」という。

「ない」という。

「ない」という。

「ない」という。
「ない」という。

「ない」という。
「ない」という。

「ない」というい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。
「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「ない」といい。

「

きのふ定例本會議の質疑

一、日本國ミオーストリア國問通

分を

る宣言決議は日本帝國に對する

保障し得ずば日本は自衛上適切な方法を講ぜねばならば貴下の義務である、若し取締り充分ならず在留民人である、これが安全保護は支那の責任で上海に於ける

の處置

ーを難詰

樞府の

對支强硬主張

は極然野間を設すべき事情のトに は極然野間を設すべき事情のトに は極然野間を設ける以上この所 では最早良氏の総州政府否

た分能せらめず耐し妥動を攫へて再び中央に乗出すべく準備を貸すさ云ふにあるさず後つて飛く待つを娶せずして再び那が碌氏の覧力さ発腕を必要さするに至るべくその場合特は魔鬼派が政権を得て中央に棄出したさころで此の内外多端な難局を場換け得るものさば、おけに野恋が成立と郷峠、駐職局限氏共働郷氏の基本軍隊は緩々河南に製耙を開始したものに似た默恕が成立と郷峠、駐職局限氏共働郷氏の基本軍隊は緩々河南に製耙を開始したものになた戦勢が成立と郷峠、財張限局限には南京院東極派の安協成立後の兵力保存問題に就き戦極の大

な難局を切換け得るものさは考へられる。河南に製部を開始したもの、短くだの兵力保在問題に就き或種の攻守同盟

地方維持委員會

の特殊構益が支那側多大の犠牲を拂つて獲得

るに至るべくその場合まで兵力

取締不充分な

自衛的手段を採る

村井總領事 張群市長 に警告

これを買收した網界である

默契成立

にいたつたのは陳銘樞氏等が蔣介石氏の命によって巨額の金をもつてすにいたつたのは陳銘樞氏等が蔣介石氏の命によっても動揺の懸念なきものに決したこさ及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸念なきものに決したこさ及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸念なきものに決したこさ及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸念なきものに決したこう及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸念なきものに決したこう及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸念なきものに決したこう及び張學良氏の北方における地位も動揺の懸察が確氏にた。 これを買女しこ言ならっ

的代時も最 3本傳存味美

實践報告を表いる等である は今後の時局推移を見て政府より は今後の時局推移を見て政府より 外交調查會は

政府側の意

臨時派遣費

麥員連名で聲明書發表

が解作用起る

三、大統領に聯邦準備銀行の貸附をゆるむるため同行貨附をゆるむるため同行貨附規定の改加、大統領は必要を認むる時は大戦情報を受き認むる時は大戦情報の如き一大融資機關の如き一大融資

卡前

土億弗の資金を以

新金融機關を

設立

白堊館の經濟時局協議會で決

近一離小

000

續々集兵

は、 さんな魅めの千萬歌よりも力強い 第のだが、一般のいふこさは、いつも とんな魅めの千萬歌よりも力強い んちやない、さ喜美の小さな心は、たっまで、無理をして達ひに來る 「僕の無力が残念だ」 さいふこさであった。

いやうな。もちくして居るさ

「さあ、どうぞ。ちき聞つてらつ

大学 (大学) 一年 (

事に歌中の郷を三四回見舞つたされてはないかさいひ終るさ共に職事は感す館ら出陣して戦行して来一

無策や非難さ

新聞して唐る。 軍憲の威信失墜
一人の支那単生が起さの會見に おいて語つた所によれば、ニ十二 日の驚戦大會で継が飛らが禁止強 中が起ち上りそれは何時繁衍する 及廿七日の新民概に載せられた 投書に「我軍は呼越駆はざるか」 「中國の軍人」「再び問ふ兵を搬 でも大官は何虚(行つたか」など

だな「であってあった場合は国一部には悪かに呼答を要求してれが不満なものであった場合は国一

一張學良氏の立場 で表達の無いが無難良氏の使命を帯びて入京も群介程氏に無學良氏の使命を帯び で表述の無いが無難良氏の使命を帯びて で表も群介程氏に會見もた際、 で表も群介程氏に會見もた際、

領事館の門前で打飾日 の巡響又は変番、智慧或は日本人の外出は鍵

操業中止に決定 海工業同志會 陸戦隊に工場の保護を依頼

支配されてから ではないでから ではないでから ではないである。

敵も休業

家田の後へつ かけらばりを慰してか てくれたら、家の窓もの並つまで で思い情が、家一なだが、家一はちつさも知 うにか決心をしやうさ、彼の魔遇を、しみたくご歌 さうして舞を助けるここも、出来 たのだが、家一はちつさも知 うにか決心をしやうさ、彼の下衛 を訪れた時、半ば撃期とた通り、で思い情人で、またいよく、 ぎゃんの事などおくびにも出さなかつ 「今しだ、お出端になつたばかしたのだが、家一なたづれた教唆も なんですのよ。たつた五分検前。 なんですのよったつた近です なんですのよったつた近です なんですのよったつた近です なんですのよったつた近です なんですのよったつた近です なんですのよったつた近です なんですのよったのでは なんですのよったのでは なんですのよったのでは なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったつたばです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのよったのです なんですのような はんだん はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんし

無きを知り七日作業を社働では到底平穏に歸 上間に不穩の無禁寒原、 人郷感の玉場に及び驚 人郷感の玉場に及び驚 のでものないない。

『東京七日祭』中華民國時局に関

ント發表

である、子はまた本日である、子はまた本日 萬福麟氏

四番一般の産業の年来でか何さも は張撃良氏と総合も無能江の蚕立は は張撃良氏と総合も無能江の蚕立の食物の経典でか何されている。

機能 たしてある 『奉天電話』 一からは、ひそかに、勝來一緒に て 然を察して破かに北平を去る準備 かなり差しせまつて来たのだ。 窓 かなり差しせまつて来たのだ。 窓 たっからは、ひそかに、勝來一緒に て 一番に すっからは、ひそかに、勝來一緒に て 一種に すっからは、ひそかに、勝來一緒に すっからは、ひそかに、勝來一緒に すっからは、ひそかに、 一世語するさいふ言質を得て居るの 直

「では、僕のさころに來ておじま するこ骸髪かお風呂にでも

を与れやしないだらうか) 響美はかたくなって熔んだ。 事美はかたくなって熔んだ。 さう云つて、好中はスリッパをためからしれませんよ。安し上つ

金 の精神はまでロタルビン川側





を除く邦人經營の工業に七日登」當地工業同志 て全國的金融機關をこれた。大統領はアメリカ銀行家に對

が歌がからないであるが を本でもも和窓一致しな であるが であるが であるが に對し貸出 をなさし

るる、へんなかたまりが、いろい れたが――彼好の脳の中に支へて 彼が居て、親切に、云ひ懸めてく りして歸った。

てくれた。

を は を は の事などおくびにも出さなかっ たのだが、寮一なたづれた影戦も での要などおくびにも出さなかっ たのだが、寮一なたづれた影戦も でいまかであった。 を の事などおくびにも出きなかっ を の事などおくびにも出きなかっ を のすなどがの下後 で のでが、家一なたづれた影戦も で のでが、家一なたづれた影戦も で のでが、家一なたづれた影戦も で のでが、家一なだづれた影戦も で のでが、家一なだづれた影戦も で のでが、ないっ のでが、ない。 のでが、ないっ のでが、ない。 のでが、ない。 のでが、ないで、 のでが、 の でも言葉だけは、観坊さうに云つ 「別におそくなるやうなこさは、 喜美に

第二の反抗。 宅や す

2

民間銀行家な説得の八日聯邦準備銀

を 養地等に随つた、出餐前政府に鑑 で、 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」

たの如くステートメントが養表されています。

宣言文

して鍵盤融氏を駐米公使に田命の

強壯

貧血諸病に ブル ルゼン ケケ 月月 E

神經衰弱にブル ケク月分分 三個七十 D

虚弱兒童にブ 一ヶ月分 三田七十銭

疲勞恢復に ケク月月分分 Di 三腿二十十

グアヤコール

氣管支炎に ーケ月分 四郎三十銭 中ケ月分 二眼六十銭

全國五百有餘官

式 源泉

标 澤世 友吉商店

が中は平気で楽一の部屋に彼がないつか、留守に來たら待たしていか、留守に來たら待たしている殿室で

luu C

nnn ппппп רחחח

日多大银行

пп

第であります」さいつてそれを紹っている。 おります」さいつてそれを紹めています。

政府に請解す」「反日教 を規模の大語を見るに「全國 を別に集め、日本兵を指 では、最も経烈で、試 の決議を見るに「全國 の決議を見るに「全國 の決議を見るに「全國

大日華銀行

と一場のお座なり接続ならた。していばると、彼が大連に着くや破さで振めて、いけではなると、一葉に乗めて、いけではなると、一葉に乗めて、いけではない。

しは整合

資本五億界、大連大廣場の偉觀

六日大蔵省議で決定

東北金融改善を

當局に

滿蒙研究會より提出

グ大統領は七日國家緊急会を養布していません。

割節約

な場す所で、質行されて質排斥、經濟組変は、共

を三十萬圓減額

家本長館は七日開東際に成で時間 とたの版く語つた とたの版く語つた とたの版と語った。 とたの版と語った。

開する狐銭権利を保留する日野明

解学整備のなめ近

近く順田、カラハ

交渉問題協議 日露漁業條約

塚本長官談

れは文庫さんた事だ、設園の傑がをして彼は一億萬國民の期待を双原に決せらるのであった。 おのであった

植民地特別會計

事業等は飛ど館現不可能されの翻波像第さなり総局二千萬圓の遊館さなり総局二千萬圓

画を深せて遊入出の記録を合せる 一面を深せて遊入出の記録を合せる

從つて明年度課算は蔵

が突破した以來、

するわけであるが、

行政整

理案

一三日中纒らり

首相、藏相の斡旋で

關東廳

明年

度豫算

說

形政府は少とも取締らず、却つ 政務省は九月二十五川にも一 が務省は九月二十五川にも一 に訓電を愛して、南京政府に抗事に對して、我政府は重光公使事に對して、我政府は重光公使

す、郷ろ明白に之れを鼓吹してされた保護せんさせざるのみら 者が軍艦を送られ

神上の苦痛を受け、財産上の思えれによりて甚らく、身體、味 大邦の間柄であるに拘らすて、日支兩國には通商條約あり、日支兩國には通商條約あり、日大和國には通商條約あ

ある。斯くの如き狀態に置か護の任に當らればならぬから

10 30

かくさらでだこ不況の今日、乗に鑑 安さいふ有利な地位に居を占め 安さいふ有利な地位に居を占め

のではあるまいか、

内地主力株の大引軟系を入れてで

1110,00

八八九八九〇〇

柄 寄値 高値 安値 七

様民政策に背恥するものさなるいふこさは結局において帝國の

內地株引安

楪

土

沈

新豆聢り

破れ、日支兩國民の感情は愈々るならば、日本人の際忍も遂に

悪化せざるを得ない。 滿洲事變 の起る前に、政友會の森總務一 行が滿洲を觀察して、恰も戦争 直前の如き狀態であるご報告し たが現今の中部及び南支の狀態 は當時の滿洲の如き狀態には止

稅制整理案 審議方針

さこて流通と紙幣は全く兌換準現大洋、小洋錢、銅錢等が雑然天票、官帖、大洋紙幣、私帖、天票、官帖、大洋紙幣、私帖、本代維新當時の夫れに髣髴し、奉

こたいこさはあるが、ほんの先が、そんなこさは絶對にない、が、そんなこさは絶對にない、かの如く傳へられてゐるやうだ 東京六日登 政府は税継祭理に ではす行政制護會を開設するに至らな です行政制護會の組織内容をその を監修をは影響をは特別に影響 を監修をも影響をは特別に影響を を変換をも影響をある事さし行。 の変数をも影響をある事さし行。 の変数をも影響をある事さし行。 の変数をも影響をある事さし行。 の変数をも必要がある。 の変数をものである。 のである。 のでする。 の

新規事業は實現不能

一千萬圓前後

聯盟關係者

解決を奔走

發布 関する理事會は滿洲その後の事態 ・ 出し且つ各國領事よりの報告も ・ 十四日までに日本軍が滿線附屬 地内に撤退することは不可能で ある

ブ博士に内閣部組織の命令再組織の命令 現に新走してある 進されんここを要認し関係者は彼。 変治家が出席し日女紛野解決が促 11再開されるこさとならうで観り 配して理事會にはグラン

大統領緊急令を

閣

總辭

內田滿鐵總裁 ▲紅松雄二氏(支那稅務司)東京 駐在こなり七日出帆香港丸で家 族同伴難連

| 大きな | 大き った 『奉天電話』

辻利特製の

ウヅラ粕漬が

は附送御地内

すまし致包小

次長谷心養次郎氏は七日赴低の途、東京特電七日整』滿線蔵事部新 歐商事部次長 カ本願の新山家も歌歌城にならかれたかの歌山家も歌歌はなった。 らず▲「ちえツあの小僧がへマ

上海標金後場が日本民間において、金輪出祭止論有力に行ばると見て、七百兩を割つたので常市引際念藤

一一一後 場引 九六二〇 九七〇

出來ました

*

産婦

一一一後 九九二十 九六二十

Ⅲ辻

利

食

料品

部川

◆定期取引〈單位錢〉

標金急洛

當市急騰

以て金資本の日本銀行と溶け合ふ 選び、日内閣の諒解もあり、殊にの一格守よりも満親總裁の椅子を し銀資本の支那銀行も野金中値を 五、關東州自由 二、滿筆會社の

とは、全貨本位國 とは、全貨本位國 とはたう在滿の出 たりて仕握されば で、一を調せるもので、 を日支融画間に整ち を日支融画間に整ち を日支融画間に整ち

係にのみ階

た事があつた。銀下添に依つて金 共帯滿洲に金祭、観射の野ひを 共帯滿洲に金祭、観射の野ひを

て勝識が勝騰した呢く、其是和は此銀行合体も昔の金銀物に對し かしそれが大きな障壁を築くこと

中込めば見事に脳盤飛戦、戦後果 できず疑聴機関の観さある▲「秋 ならず疑聴機関の観さある▲「秋 ならず疑聴機関の観さある▲「秋 が子」▲外の家で自家の子が瞬ち れて居る、それ助けに行け、これ は無線の措置だ▲わが驅逐艦の南 は無線の措置だ▲わが驅逐艦の南 々たる今日鏡州まで引き返しも出 て反照射繁春県、谷地の巌立路銀 よい離されさうにもなく、さりさ 來す▲錦絵の一策、間隔に安脇を

不時計

振動不感

東京の単位だり 金 銀野洋 金野洋 の 130% 150%

二一一後 一一九三七 二二九二五七

婦人の病は婦人の手で

永井婦人醫院

清

電話三六六六番

綿糸續騰

進出に對して 等が敢て抗議 洗液質の密感 「「ないのないでは、からないである。」 「一覧で叩き上げてがく今日満年死の魔地に導くものである。 ◆半党ホテル機権所の機械的な御 まされついある我々の前にそのまされるい。 信用さいふ破暴を築き上げたに て砂底大滿鑞の酸であり得ない

羽炭事官より詳細報告を聴取する 扇倉関係官の打合せ會を開催し天 後四時より外様官邸に外務、農林館天邪幾事官を搭数したが七日午 はれない、満鐵本來の使して我等か驅逐する前提を

低の陳定で交渉は帰還後開始の答事官は十五日頃離京モスクワへ歸 が此を軽へる事さなつたが天羽参 で に かく 割で あつたが 質が・ 形 歌紙 で おっここになった 手形交換高 大連組合銀行

○現物後基(銀达) ○現物後基(銀达) ○現物後基(銀达) ○日本高 二萬枚 日本高 二萬枚 日本高 二萬枚 日本高 二萬枚 日本高 二百〇 十三〇 九九九九九九九九後 北八九九九九七四五 生〇〇〇〇〇〇〇

盤 正隆銀行

利

店川

横銀 满場広西

東 赤京

大中 阪日 屋文 號化

大連市浪速町

刊新

軍に經濟的理解を持つ上に於ても萬人必體の業及利機等の全般に亘つて、至極要領よく、1級道關保資料を蒐集構進したもので、各級道の設置の計算を表現。

前編一满蒙鐵道概論

サーサー 大(長期) (後場引 中中 ハハ七〇) 中中 中中 ハハ七〇

一方 場一時 成 強 直 元 身 満蒙鐵道の社會及經濟に及ぼる影響 調

查 課編 送料 十四銭

満洲及接壤地域地形圖 されたい。
本間は満織地質調査所多年の苦心にか、るもので、従来されたい。
開査は、學院の主に関した總元の地形顕岩無の際本闘の如き権威ある資料のに関した總元の地形顕岩無の際本闘の知き権威ある資料の
本間は満織地質調査所多年の苦心にか、るもので、従来

大豆軟調

市場電報

五三一二三八〇〇七九七〇〇

刊新最

滿鐵地質調查所編 關於產職 證賴

1.配三000

一、四八〇〇

置

最新满蒙

121100

鐵會過 送月 十八 数 归本金一面

●一般看板●美術工藝の業務擴張 00 板

総条 大阪三品大引は陰限三國 ・ 1 一月限 九八十 五〇 ・ 1 一月限 九八 三〇 ・ 1 一月限 九八 三〇



備の薄いが配をれらって

かれたりしないで直撃察に属て頂 かやまらりやう、さいふのはその

附記

解散は午後三時の鎌定ですお子供さんも伴れてお越し下さい

滿

B

切り茹でてバターでいため響

おにぎり、風呂敷、新聞紙

さいふに季候から来る標準作用がなまず、一般の方々も緑をゆるめ

芋

りデ

コッドロが根常な強盗をやる

滿日婦

團員

若し不幸にして此等の害な受け犯

持會集期 合場 物場所日

大正廣場停留所 臺子山平田農園

十月九日午前十時集合

にするためのものですから関身の

人が外らない時にはその著後策を

した。けれざもこのごろは、そ 信次のお父さんは

東枝が多くてあれた山でもた となっているさ などは、紙一枚だつてかつても



男の子が花うりたするなんてお

能次は、初めはかう考へてゐたの

がしまはつて、なでしこの概をさました。これからまたあちこちさ ました。億次は、根の形から、なない、草の中にまどつて吹いてるない、花をつけたせの似いなでし るべく強を長くするやうにちぎり

だことがなかつたので、するぶんだこりをしました。 歌い谷かまは、おみなこれがむらがつて吹いてるました。ことには、まだ一度もきたことには、まだ一度もき くなるほどにつむさ、山を喰ふにがらたのです手にいつばい極れな

、一般一般、門口にたつてな空機像になつてきました りませんかしさこみた した。なんだか雨でも

すきな花な、かつてにえらぶんで 「ちょつさ、みんなことにおりて

お窓にかざつてあるこ

の花は

(E)

意されたらなほ便利でせう、職覧一の様でも間に合ひませうが鬣蠍用のやさなシャベルが用ーが高が大きなシャベルが用ー

避つていきました。けれざもごこをあつめてすごすごさ次のお家を

りがたくてなんごもお歌ないひ さつてくれたのです。徹次は、 「今日は、雨がきさうちやな 「おまへさんの家は、ごっかれっ わたしがみなかつてあげませ

一 ぶのです。低次は、ごうせかつて 枝ぶりのいと、驚の勢いのをえら 「さ、これだけもちつておくよ。 上にダリヤの花がさいれてあるのおが関からちよつさ見えた茶棚の お説にかざつてあることろもありた見ました。これからコスモスが もちふんだからしかたがないさお こさはられてしまひました。

こなの傷次が、いくさ、いつもる三階の概の家におばあさんがるき れかけてゐるのに氣がつきま

れおちてきました。特種の花がし はげましながら、とめつほい戯が施 をかたこここのぼつていきました をかたこここのぼつていきました はがあり、しめつぼい戯が施 はれば、自分は學校へいけな

ひざい数響もないやうです、例年のですがこの方面も日本軍の響像がよく行き渡つたためにこの頃は | ですが、今のさころ全く | にはそれかく 系統がありますから | らしたり引つかき踵したりした縁にていふべ | 市街地へ潜入するでせうが、彼等 | さはれば必ず指紋が残ります、散 の匪賊は十日 智能的犯罪が 月十一月の高 気氣の深刻化に これから殺伐な事件がおほ はては切ったり刺したりする事代 特別な重い野に處せられるのです。 はまつたが最後既徒飛野命さいふ 事性が何時起らなさは云へません です、で今の城態では州内も奥地から彼等にさつては霞に辛い次第 も匪賊の害はいだらうと思ひま 大連警察署 千葉司法主任談

人な響性な事性は勢びに今のさこれが響けな事性は勢びに今のさこれが響から智能的な砂楽はますま の影響から智能的な犯罪はますまで多くその手段も写妙になつて行るというです、金融が近のために対 難論員を作りその です、先程も申しましたやうにこ 方を見ても犯人の大性の見當はつな見ても、窓の明けが、門の外も くしないやうにして頂きたいもの くのですからこの大事な證跡をな 或は輸母子籍を組織して臨るをして金銭の詐欺横領なし

たり、柔かに色づいた芝生でお郷ではだ大なグレート大連の西部の全にが一般がって左手には水源地から 藍山屯へかけての丘や川や畑が繪 眠いたり……するさ遠くのが、柔かに色づいた芝生でお嫌

すま居てへ揃取上富豊を地生白種各 …へ店当の問事は深驯餅即付紋即

人参は戦し金でおろし玉子を入れた戦かを混ぜていまった場で、これか味醂で戦かをまった油の中で揚げ、これか味醂で戦池をませた社で素で鰆と感合せ香の物を

んさ馬鈴薯のバタいためてき野菜の玉子さじ、菱

勝摩芋を包む新聞紙さ風呂敷た御ぎり程度のお挑賞に、おみやげの 會費は無料、機需品は簡単なおに方はなるべく多数おいで下さい、 松糖を混せ前の状料を加へてバタ 窓をパターでいため朧と味の素で 切り茹でてバターでいため騰胡椒とます。騰元さ脚鈴薯さに適宜にした敷いて綴に入れて玉子さどに

つには飲食全體の親睦なこの

「大きないからのな三十銭にも五十銭にもでいかものな三十銭にも五十銭にも強えません。 根拠が「銀破打ち」さいつてあるのも概能あります、これはてあるのも概能があます。これはでは、根拠が「銀破打ち」をいかものな三十銭にも重要しています。 付くので、もし一度これに 臓じや 手に入れ同縣や同窓と 脳つて泣き

出航中家に留守店とてるた奥さんやうなこさになります。光年夫の C 愉快なお芋掘り 滿日婦人團員親睦の為の催し 奮つてご參加下さい 充分用心してこんな評

いらかりデーを昨朝地社告の如く さいました、その皆様の熱心によからさつたばかりの新館な土の香 夢集に際しては大多飯の彫刻の族からさつたばかりの新館な土の香 夢集に際しては大多飯の彫刻の族からさつたばかりの新館な土の香 夢集に際しては大多飯の彫刻の族のためたいと満日を大歌の彫刻の族のに近れます、光達ての場間後というない。 、さいました、その皆様の熱心によっていいない。これました。その皆様の熱心によ

なかに満たして、さてめいめいのなかに満たして、まながりデーな昨朝で社替の娘くなたのもみたいさ満日婦人魔真のないもかりデーな昨朝で社替の娘となったが、まないのはいのないのはかに満たして、さてめいめいの

た、あの線こまや

臺子山 の松桃に歐まれ

こんどの李御リデーは一つには樹 といふ多數を沿線を地の出航軍人 を緊急前に贈るここが出來ました 切り、肉と菠薐草なバタでいた鳥肉は細かく刻み菠薐草も小さ

総査の物⇒と で、味醂、片葉粉、掲油、警点子八匁(半ケ)液発草、味噌、 がで、味噌、片葉粉、掲油、警点子八匁(半ケ)液発草、味噌、 材料無十五匁、人参五十匁、ご 一五一。

金

忠

輔

劍

難女難

アと涙の結晶たる金忠輔の珠玉篇。 常と近作歴刊的人氣を集めたユーモニンが削刊をして成功せしめた名長年ンが削刊をして成功せしめた名長

す送すぐに

ファンを讃歎せしめた傑作。
しめたる名は篇、映畫となつて全國
推畫
矢野 機 村

殼

爛たる

この

集積

十五

卷

な味噌さ酒を混ぜたものゝ中に

けて野子燃織にパターを敷いて焼 を乗す、これにはぜの佃煮さ香の をます、これにはぜの佃煮さ香の がを焼り合せます

計蛋白四。三カロリー→○九・九 南七匁菠綫草、碳、香の物少々 肉七匁菠綫草、碳、香の物少々 同) 兒童向きです

おか

素に、しから身軽に願いますせんが例により服装はなるべ お辨當の

画員章 すが態度がの方の参加は絶對におお子典がもおつれ下すつて結構で をおつけ下

て見ら知らり男に金をさられたり で相談人がズボンにインクをこぼ されましたから」さいつて着換へ の洋脈をかたられたりした

るにつれていよく巧妙になってた智能的犯罪は不然無が深刻にな

般のだべも

ます、行職人の中には十銭の

が「御主人の使ひだから」さいつ

めた!この砂

編中著酒

感

變麝香猫

は唄ふか

ん蟲

花

地

戶城心中

春秋編笠節

の花嫁

處女爪占師

の結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの活動を表して現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のが出版権の懇望を争ふところとなつて居りましたが、容易にその語を得なかつたものですが出版権の懇望を争ふところとなつて居りましたが、容易にその語を得なかつたものです。大衆をあるもので、本社を始め敷社が出版権の懇望を争ふところとなつて居りましたが、容易にその語を得なかつたものです。大衆を書して、こゝに漸く、豐富なる大個人全集の處女林は本社に依つて、その開放をではありる。一十一氏の超人的な累積は、早くも、全集の偉觀をなして余りあるもので、本社を始め敷社が出版権の懇望を争ふところとなつて居りましたが、容易にその語を得なかつたものです。大衆と言い、本社をもつて、こゝに漸く、豐富なる大個人全集の處女林は本社に依つて、その開放をではありましたが、容易にその話を得なかつたものです。大衆と記述を表して、一点を表して、こゝに漸く、一点を表して、一点を表して、こゝに漸く、一点を表して、こゝにあると、大衆といる。 10.9 12 この快報を告ぐるを以て近年の快事とするものです。ごうました。厳んでください!本社は全日本の吉川フアンに、ゆるされた譯です。未刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々とし か御聲援をお願ひいたします。 牢獄 よ ! 貝 討坂東俠客陣· 具足組 戀

さけぶ雷鳥銀河まつり

歪 聴 剣 難 回配本開始

全十五卷 申込金なし 个月廿日 (東京市内六鑓) 町番六下町麴京東 九三六九二京東替振

審染色變へ全十五卷十五色の譜調美金文字函入平色箔押豪華美本。四六列各冊七百頁太綴絹地裝特染色

切

絢爛たる豪華本

册

一色刷挿畫廿枚

出來榮えです即刻お求め 下さい ◈

新聞をして夕刊録行部數を一躍信加をして夕刊録行部數を一躍信加 村 田 陵

戶

或

志

女來也・飢えたる彰義隊職の既の事件の一大学が力作品の最初 東味も感動も萬人の胸に深く、吉川 東味も感動も萬人の胸に深く、吉川 東味も感動も萬人の胸に深く、吉川 類山る綿絶版りない名は。 がはゆる銅戟物の快作、剣の美と鬼 旋風的時代のトップを切った、氏の 旋風的時代のトップを切った、氏の りなき八容の興味と感激! りなき八容の興味と感激! スケールの偉大さ、近来の巨鷲! スケールの偉大さ、近来の巨鷲! スケールの偉大さ、 最初の執筆にして最大の快作。 吉川氏のみが覗き得る小説の世界た 吉川氏のみが覗き得る小説の世界た 来の全集月配を を発出して を発出して を発出して を発出して を発出して を発出して を発出して を表

門

秘

帖

3

7

なる快解雄篇近來の快作。 なる快解雄篇近來の快作。 なる快解雄篇近來の快作。 無審批で、

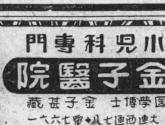
長編者 哈爾賓の

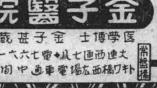
內容見本

はがきで申込めば

院醫井帽 酱九五八四話電









にある呼び物の諸

◆されば熊田殿は夏に殴つた戦夏 地、野暑地さのか思はるとは熊 人々の野でなからればなられる。

◆秋の御神の樹りなし絵へを織の をな此の樹地の意はして趣かに 西方標準の青波を望む往くさも 酸なさもさだかならの的帳三四 になるされる。 の樹木の雲を隠てと聴め入

「公王蘭」 野家店公安展より完備 に重譯来り同地の北方十二支里。 で六日午前十一時部落民の保護 は野家店な監験せんさする 窓際な に重譯来り同地の北方十二支里。 大阪子を熊家部子の中間に昨夜移 大阪子を熊家部子の中間に昨夜移 で六日午前十一時部落民の保護 ないたけたりの一脈

線往來

理連顧領本町通 曹二二二〇二 代理店 日 新堂 楽 局

内地海外到る處の築店に阪賣す

秋色濃かな風情

意識がれら何れも軟臓に穿起す か。 神脈地の外間を壁む野多の が、 誰か知らん此の大陸的情緒

さまがう給なりの核散十様の編が11種んさする老大木緑き根橋がに軽んさする老大木緑き根橋が

はいるなりというでは、 こうでは、 はいます。 こうでは、 こうでは

警備船に衝突

備中の新義州で備

日

鋸で戸を挽破つて射撃

から 清たる韶皮をした。 清たる韶皮をした。 その夜 その夜 その夜

重松大隊の出動で判明した 孤家子地方虐殺の跡

敗残兵の集團

負傷者經過よく

漸く愁眉を開 長春の衞戍病院 和やかな空氣流る

預傷兵 機需量 製造、五十嵐 関合、五十嵐 関一等 でなせし でなせし

豫備軍曹の縊死

安東神社の裏山にて

死に至つた原因は

なって像者の感情も概能緩和されるでは一次ので、なって像者の感情も概能緩和されるのでは、 なって像者の感情も概能緩和されるなど戦響が

これは動から頭にかけて戦策を表しいを実際一ぶくで観まることが多いを素味はいも利けない起ることが多いではいる。 節面神經痛と頭痛

Powerful and Reliable Medicine for Gonorrhoea

る來出の賴信然斷

を拜受

の患者に警告す

元 竹村製 七三日日日中 分分分分 物 村 幸 次 郎 所

> 海軍 井町正八 問用

シュークリ 製ベビーシュークリー 木 **医屋** 東 /支=子 四六編

敦賀町 サービス…是非一度…… 日支英料理さ飲身的 自選に御批判な翳りたき 食堂満

、異國人種より傳染したる病毒 るが故に在來の治淋薬にては 寸効なし、この場合特製リベ ールは物凄くこの猛毒性淋菌 を殺滅す。

朗かな家庭的ホール

田村商會職支店 電話五一〇時

リベール臭を放つて排泄す出時速くも著名なる効果を自臀時速くも著名なる効果を自臀

本剤の優れたる點は

人自

及

理

一、専順裁縫部高島屋洋服店一、女學校御指定紺サージ切賞

何も彼もレベルを下げて 學生服部開設 全 ゑびす 四个 ■吳服

具門一常 緒 方商店

4 順たなる 6 本ん 玉 造物子種梨ご 月見農園賣店 旅順市月見町 見 農

旅 順 商 店 內案

修殺さい

(四)

元 造 釀

自治機關

冷•

四平街に

駐屯兵逃走

【四平衡】鐵道東支那新市街二萬 の様民は日支の變局を機さし從來 がを襲へた終つの様民は日支の變局を機さし從來 がを興へた終つ に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の に新市政敷設の

不穏の行動

統税局の

撤廢を

懇談か

安東憲兵隊の意響

古林に飛行場の 戦のよいここである

飛ぎ完成した の手にて名城北 の手にて名城北 が近に

告別式

省政府の布告 ででは ででは ででである。 ででは でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 戰死者慰靈祭

新の倉屋室に放て谷野工作に関し六日午後の中野に関し六日午後

本邦製治林樂リベールが海外諸國に於て最も勇敢に數多き歐米治林樂を壓倒しつるあり而して醫樂兩者間に大なるセンセーションをまき起すに至つた。
現代治林樂の第一人者として內外人間に絶大の信用を博しつるあり。
「恰も熱湯を注ぐに等しきもので膓粘膜よりの吸收作用極めて速く膀胱内に入つて强力殺菌性尿と化し放尿時みごと殺菌作用をその藥効の説明は茲に千萬言を費すよりもその薬効の説明は茲に千萬言を費すよりもるのの體驗者の實話者くは、五日分の試験に由つて事實を知られよ。

特製リベールに

薬な

に優る

しびれ引つりのれれ 訪るゝ質。

〇 市 支 沿 岸 衛 ○中華長■(一名利比児) 直接申込われ送料不要送薪す。

・ 関らんさする店ありご聞く、萬一品切の節は養實元へ関係がある。

・ 関いて、東一品切の節は養實元へ関係がある。

・ 関いて、東一品切の節は養質元へ

マニラ シブー ダバオ 東京 東京 悪洲 厦門 東京 寒宵 稲洲 厦門 **海青**

魚 屋達鉾

本日より五日間 冬 されいな新しい品いる 物大賣 渡 出 麗衣

流質

五服

の入電

藤田會頭より

決議文を提出

幸校

奉天に强盗

政職もが收入減のためか何でも大統三百人の外養工職が置八大のり之等の食料は従来が天高人の外養工職が置八大のり之等の食料は従来が天高法院と解財政局さが負擔してる法院と解財政局さが負擔してる。

長春は賑ふ

て

日

店支 店本 の代。名・前屋営業的特達 七五四八巻・八五二二章

登家 整際第一丁目四六番地 (大家) 整地住宅乗事務所 電二一八二〇番 電二一八二〇番 電二一八二〇番 電二一八二〇番

料動人の要電三五三三

大會に出席

大會に出席

がら生田地多議長、田村在城軍人分會融會長、宮澤居留

村在城軍人分會融會長、宮澤居留

中國人業者代表を改計に加へられた言語院でしてるたのであったが一大日三龍内移展長は関東駅に田窓大日三龍内移展長は関東駅に田窓大日三龍内移展長大部大連公議・関東壁で呼び閩浦に解決を選出る長、繋屋理事及び部大連公議・関東壁を呼び閩浦に解決を選出る。

『春天』六日午前十時十分頭小西に貫通統領を資金のか自衛が経済を対した急報により我が審査を見たが窓に聴せつけ追離したが窓に聴いた。 奉天に謠言 電 【長春】南龍戦闘視察者性寒で長春は艇る繁晶してぬるが健寒戦職 が目下第四職隊より際の許可を要したが目下第四職隊兵の診可を要した がは、大力にはなった。 で観察が衛兵さして駐在してぬるが、といいで観察が出來るやう手徹さして。 便にした たる荒脂安東西語會頭は四日を安 荒川委員上京

東

電民有志を敷は職職に於て你車中 電民有志を敷は職職に於て你車中 では六十然行で過激したので在住 では六十然行で過激したので在住

旅順商工協會

東出餐東上したが上京委員は七日東出餐東上したが上京委員は七日大阪融融にて落合の同日大阪日支統派職職の芸能の午餐會に臨み午行力者と含まれて、大阪融融にて落合の同日大阪日支統の共産の共産の対象が、 厚東中將出發 商埠局長訓示 安

大連まで見返った 洲 里 能りの準備に取掛った 安正警備の各守備隊はいより 冬籠りの準備

戰死者追悼會 たに離密域歴代民一同より監地出 が部隊に独間袋を送つた事は野歌 が出動部隊を代表し居代民一同 より出動部隊を代表し居代民一同 の動場であるが六日東海林中隊長 り代表者二名守備隊に出頭整備の の特別を持つたが四日 出動部隊への監問を祝つたが四日 出動部隊への監問を祝つたが四日 出動部隊への監問を祝つたが四日 守備隊を慰問

安居アパート 電話三九五三 田 部 井町内 大便完備 電子 八八五番 マックタート 東他完 オーム も 改良演 な アパート 電ニー 八八五 田 部 井 貧家 穏々あり

大連市二集町六 記六九四二番 で 電左線制七八九 鈴木丈太郎

院

有煙炭完全燃烧の理想品(権間を)の「本鍋送)

慰問袋に感謝

岳

中原の推移狀況次第直に概式をない。 ・ 本名に塞したので喰り一先ろ指動 ・ 大名に塞したので喰り一先ろ指動 ・ 大名に塞したので喰り一先ろ指動 ・ 大名に塞したので喰り一先ろ指動

力會員の事集に努めた結果百三十版順商工協會設立に就ては解來極

相場三河町電

火給 夢生 本まル大振張に付三十名 東町リリー六番 電話三四一六番 電話三四一六番 聖徳哲二丁目六〇番地 聖徳哲二丁目六〇番地 聖徳哲二丁目六〇番地 聖徳哲二丁目六〇番地 K

皮膚梅毒

重富

電話七五二八番

設開所泊宿易簡 寮 岳 熊

圓

和服裁縫い心得並に 通勤家政婦 東東一切一日一圓-東東一切一日一圓-東藤婆後野帝子 養婆後野帝子 家政婦(通過) 岡部紹介所 勤通 家政婦 會自派達大多姓 一個也 家事一切日一個也 家事一切日一個也 家事一切日一個也 家事一切日一個也 整座第一丁目 整座第一丁目

岡部紹介所

大連市演演明五丁目二百一番地大連市演演明五丁目二百一番地大連後番前豐話八九四八番 大連後番前豐話八九四八番 大連後番前豐話八九四八番 大連後番前豐話八九四八番 大連市山縣道 常に召せ萬洞駿城、惟智繁福、常人病に効果偉大 大連市山縣道 愛賀元 鈴 木 商 會 淡尿器科

皮 軟 た 性 素 病 病 病 醫院 院醫中野 大連西通·常盤橋·西廣場中間

F

科縣·科兒川,科內 子透井荒 医耳 院醫井 一四四六電·五二町野吉連大 肺 肋 膜、中 氣 病料

ユ

ウリ

の連大

荒 五町鬱敷連大 一個では一個で

消生醫院 問語セハ六七 整 運設ンゲトンレ 正 行田 山 車下前泉温リドミ町日春 左ル入町狭若 番九八七三話電



療開 大連市神界洞一二四

牧野沃度診療所

電話二一六三〇香

宿泊料一泊食事付 を投資配裏電話士家



西広バ西通電車道

福壽堂

見る四二八〇番

院 大連市岩代町十番地 電話八五九九番

科外醫森 000 三二通部監連大 番のニニホ話電

電歌の巡撃十数名つ、置き整理せ 「八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃 は八王寺天衛原、西関帝原、佛撃

就佐藤舎の記事出づるようつた に使り敷佐祭留中の戯三日正式に に使り敷佐祭留中の戯三日正式に が表神部草郷氏は内外の事骸

者は在郷軍人職の自警閣組織以來市中 を選集を得つてあるが目下連を巡察を得つてあるが目下連を巡察を得つてある

三二六九五番です 番です

新古 金銀白金ダ

自警團を改組

古本 連貫高價 計學 其他調不用

受品は他店より話四五七一番

旅

乾麵麭を配給

作り内部に寄贈者の住所性同袋は六寸に八寸の白木綿

が良好であった

で、なったがそれによるさか会院、 大大選、下土以下三十選、際性さし 大大選、管波料福士館以上一日六 大大選、管波料福士館以上一日六 大大選、管波料福士館以上一日六 大大選、管波料福士館以上一日六 大大選、管波料福士館以上一日六 九日に逆上つて戦事総典をなすこれ日に逆上つて戦事総典をなすこれ日以前即ち十た軍隊に對しては五日以前即ち十た軍 送り杜絶 居留民大會

『族順』九月中に於ける旅順戦職 まりなく渝洲在任者にこて來遊れ まりなく渝洲在任者にこて來遊れ を着四十五組此人以四百名、內地 との方は三十九組二百四十名に過ぎ は、 旅順戰蹟見學 例年より 市林原館民會にては來る八日居館、 「能方法を定めたそれによることに が、起者の協議會を催して其大會の決 能方法を定めたそれによることに が、電して製論の喚起に努めることに したその大陰の決論事項に一、吉 したその大陰の決論事項に一、吉 したその大陰の決論事項に一、吉 輸組九月業績 吉海線問題等であるらし

月

囚人食料缺乏

+

年

六

軍隊戰時給與

吉

戰死者追悼會

本 () 付 (蔬菜品評會

年果の南洋出荷を目的さらて選股 が趣で採人業者を現て占められて のたのに對しては解水中國人業者 のたのに對しては解水中國人業者 出荷組合問題

フヨ 品 書編骨董 不用 品親切本位置受 常陸町波邊商店電話六八四一番 高値買入 御報参上 日陸町 たびよや電式八四一番 新信質買入御報を上 大谷商店 美濃町七九番 大谷商店 大谷商店 大谷商店 大谷商店 電話

下宿 食事付動人の方を望む 出家町一丁目裏通 日露帯大大八五 日露町一丁目裏通 日露帯本大八五 大連牛乳

美濃町全野炭所前腰雨館電光完 全事 含耳事吟撰水帶在尚勉强 信濃町市場前 電五二九三番 三チ ロバン 電話 で決計 ボーズ 天拳 信濃町市場前 電話

伊勢町大竹下商店電三九三〇 (修繕は責任を頂に致します 御一報次第直ちに参上 を着し責任を頂に致します を着します。 を着し、 でである。 を表する。 をまする。 をまる。 をする。 をもる。 をも。 を。 引越 荷物 荷造 後送迅速・通 棚手額 から御用車九 瀬びます 悪比須町五九 瀬 子額 古市 運 送店

蓄音器 神一報次第直ちに参上致じます 一時間修繕 質

得力治林新藥 義先生創製

八堂主風呂崎 10世末人八八番

んあんま んあんま

林

第中 の御用命は 声野町一萬堂 電話七八五九番 東京 中 本 座 需 大連市大山通 小林又七支店 通引 盤中川運送部 地開運送 中川運送部

吉光 大連市伊勢町 上 中 西 西 五 三 県 西 西 五 三 県

支部服の準備有日本橋祭

引越荷造 海塔里送 通關代辨 金州一定期二回 大連市武蔵町七 增田貨物自動車運送部

生殖器障碍 生殖器障碍

在 て来た安東郷軍職合分會は安東も で来た安東郷軍職合分會は安東も でまるで動かれり軍撃を輔け 郷軍分會復舊

四六九二番

大阪

株式會社湯淺七左衛門商店

二道街路 進

商洋商

東

天隆成田 天野商店支店 中金 物 行行店店店行行店 店

北二條町 千代田街

洋洋

田組

支

西

商

城原福山萬加松松前

泉双物

屋家

店店店行

商

金

\$

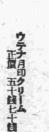


マッサージ用に理想的です。適度に含んだクリームで 月印は脂肪を

月印をつけてお顔を お拭きになれば お拭きになれば まれます。 ウテナ月印クリーム

サテナ月町をお用る下さい。 野子の方の

誰が様にもぜひ必要でどざいます。お肌の榮養クリームが



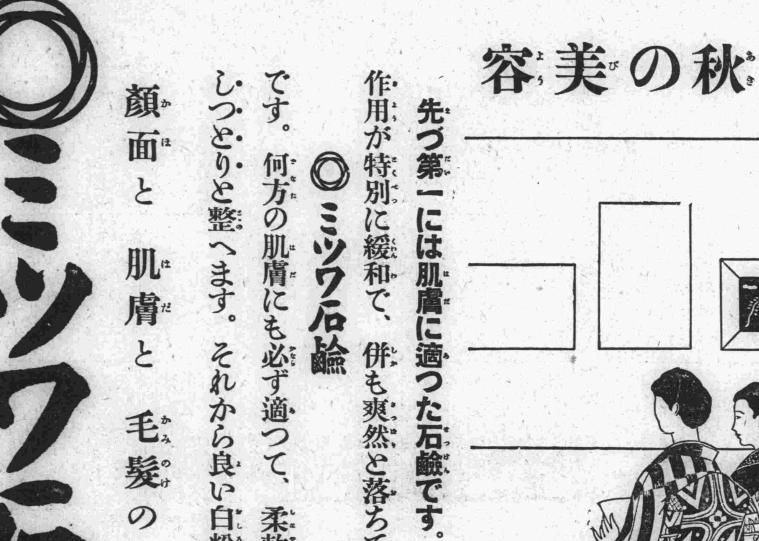


店商吉政保久哪本京東









しつどりと整つます。 何方の肌膚にも必ず適つて、 ○ミッワ石絵 併も爽然と落ちて了ふ それから良い白粉です 柔軟に且

即あ ど水保ち致します 剝落ちず、驚くほ 實に美しく仕上り 洗ひ整へるかは 如何によく肌膚を 分ります。乾いて 附けて見るとすぐ から水刷毛すれば サーワ白粉を ミツワ石館が :

察

燈火親しむ

机上に

主要なる技術家路氏 工學士 不断の品質向上の為に日夜 樂學士 不断の品質向上の為に日夜 樂學士 お

J.21

工省。理化學研究所。鈴木農學

ました

僧九九八六話電·六七運西市連大 用代乳母品一第外內

敷物漆器 家果裝飾 ジッ の滴 ◆南京虫軍全滅

気の利いた 家具、裝飾。

作用が特別に緩和で、 顔面と 肌" 毛が奏の

本語 東京 0 丸見屋

きの

整橋に

T

敗走兵に

期を開始する事さなつた、観別は木工、情紙工、関数の外にでてゐた目的の學習院はさかく世間から非難を受けてゐたがでてゐた目的の學習院はさかく世間から非難を受けてゐたが「東京特體七日發」 郵族や名土の子菜を擁して酸く門戸を閉

學習院に新設

明春新學期から開始

一朝來わが軍の飛行機は花佛寺

爆撃を投下

十登の爆弾を投下して吃寒兵に多かんに射撃をなしたのでわが飛行機は離の歩兵、神兵をめがけて数

外相ご會見

日早朝郭家店の北方二里の地話

野心外様も一行の公園の至誠に感が成まれて整成が様と會見代表は大誠。 かでなりて機を意見を披漉したるに、 がのででは、一分の名間の至誠に感じた。 では、一分の名間の至誠に感じた。 では、一分の名間の至誠に感じた。 では、一分の名間の至誠に感じた。 では、一分の名間の至誠に感じた。 では、一分の名間の至誠に感じた。

剛對行為と見做す

徒

策動は

奥へた

を決議

日下曲科監院

常の後されず冬~裏近に望って歌が思いでもれた寒青は原三市に跡でも枯火災により火災保険金六千国も轉げ込み工物三

知識

月

特輯

學生團

最近便衣除等潜入畫策に對し

戰死者遺骨

多門第二師團長布告

守備隊第一大隊戦死者遺骨三十九个回の事態において戦死せし獨立

五日發歸還

てゐるさ土氣の跛舞に努めてゐると同地では自分の軍を待ちかまへ は長路の旅に疲勞し志氣沮喪し

四鄉自治局

敗殘兵と匪賊の

刊續く慘虐

各地における被害

潜入煽動分子を **烟撃**に着手 支那人間に流言盛に流布され

排日落書頻々ご現る であつた、次で一行は若殿節様と 會見大いに懇談を遂げた

講演會に出席

薄氣味の悪い

關東廳の昇級

の異緒を行つたので異総郷が来て「提ではないかなご喜びに引きかへ十二月の麻郷で今年も六月末定郷・駅管なごはテッキリ行政整理の前が、由來同廳の異総郷は六月及び、たが、中には二三級に昇つた高級が、由來同廳の異総か代つた さかご覧ろ一瓢を斃した程であつ 異ないとしていなど喜びに引きかへ の異総に接したので皆ごうしたこ 高級屬官の悲喜交々

市職合在艦車人幹部大會に出騰し一つて居た折も折、突然この臨時施騰會及び神田車人會館における府、無沙汰で止むを得まいことかと思は七日夜東京日々新陳社主催の識、お隣の滿銀では昇給停止など不慰、東京七日餐』 酢年職監代表一行。 ぬるものもすつかり離めてぬたと

奉天醫大に送って 毒殺未逐事件取調

過去において根常の地位名譽を持て、法院順ではこの鑑定を非常にして中間の耳目を撃墜せしめただに、 され、ば滅神されること、なる、 こと、なつたが、 若しこの鑑定の正隆観代真素軽未選事件の残人と こことなったが、 若しこの鑑定の正隆観代真素軽未選事件の残人と は一般から骸に戦略かりて動られているをったり、大いのでは、大いので、この戦を、大いので、この戦を、 総士の内には多數の り在滿鮮人問題の眞相を叫ぶ 相を呼ぶさのが開催されるが 5の好し

滿蒙問題

即激読者は九日午後六時代より敷育内監部通新大陸社主催の滿雲問

獨託教師

界任者が

巡囘教授

大連、奉天、撫順の三支部を除き

禰鐵の柔劍道部

あす青年會館で

る大連郵便精験が 一色郵便物は建数六千 で之れた前年同月に 一千四百九條の減少で は遺骸の事塾のため 経出数の減少でため で燃業を継続して来たが時正に秋かっ三月の火災以来増け出された十町の店舗は急造ひの間店舗で現在ま

小包通關成績 大連職島保険健康相談所に於ける
九月中の取機の使敷は被診二百四
千百九十四名で前月に比し三十二
第一千百九十四名で前月に比し三十二
第一十四名、要診九百五十名、合計一日
4の増加を記したが之れな性別に
第一十四名、東京の増加を記したが之れな性別に 九月中の成績 健康相談所の

【東京七日登】本日の早出一回戦 上 早法戰延期

復舊に着工 山縣通り市場

附を以て、解析を以て、解析 智能を用ひては 腕馬出場馬に亢。 南東
脈では二日

ソ小賣市場は今

これを聞いた勝手連「失業者が であるが、脳出すさすぐ池を吹 であるが、脳出すさすぐ池を吹

本し元常繁使用禁止は競脚の興 ならば、それは心配御無用だ、 を放撃を用ひれば起れわやうな のはヤクザな脳にきまつてなり 一度用ひれら脳ないためてしま からだ、現に選、石滝、左近 マ学我するのは必ず元就能を用 いてるた場だ、そこで内地では いてるた場だ、そこで内地では いるが合は続ろおそかつた感が ある。 動車代は弊食堂に 上に限る す但し御三人様以 て御支拂いたしま 改装記念さして當

四平街二日、公主嶺二日、公主嶺二日

、本溪湖二日、安東三日 、柔道土居靜男五段) 蝃 郡在動教師(劍道室澤常

部・年保保(柔)星野



野口基城(柔)五十

門上陸 (张)

瀬ノ口長春(柔)

カクテルを召しま野店獨特の五

島 品

電話三二二三番

新裝なれる地下の王國

豊でノツクアウトするべく夜間純粋な・・・・・五品に改裝致しまとまれ!!此の憂鬱な大連カフエー群を斬新なサービスと清澄な味てあれです
てあれです
てあれです
てあれです
てあれです
なかりまされたりすれば誰しもダアーとなります。まして客のためです。まして客のおれてあれてす。まして客のおいかというない。までいかというない。までいかというない。

特約販賣店 製造教賣元 泰 公公 司司

豊非お試しあれ

開催のため限車 に決定した、なほ所軍メムバー は合を懸行したが、本年もこれが 連済鍵の繋抗ヴエタラン硬式医球 に決定した、なほ所軍メムバー は合を懸行したが、本年もこれが 連つて要表の答 買業對滿鐵 ヴェ硬式庭球戦 來る十一日に擧行 恐喝刑事判决 整役八月を計選され ・ を訴判決は七日節 ・ を記録単発言等係 日朔生町三 止反對運動を織けてゐる敵大學生 郷男 籠城

競落許可決定

失業救濟案

スポーツの合理化! |

文部省の體育研究所 文部省の體育研究所 が期待される

追つて養養の答 以間壁候決型力がを依頼さた 既は十日腰村如水會理事會長等で 取場十日腰村如水會理事會長等で の問題候決型力がを依頼さた 共に七日午前 犯罪工 土カポネ 審理

郵便貯金増加 人員二百三十三萬人を要するもの

十一月特輯號出た

心からの追悼會

十五日芝の増上寺で

惨殺された鮮農たちを弔ふ

通開検査の結果二百九個の課税を七十六節を除く残除の小包に對し

幸な同胞の為

でであるが、九月廿五日の申込締切 でのので配を行ふここは既報の知く 活然業課制養の獨逸種セパード社

英軍艦出港入港中だった

四博英社發振替東京

長沼家慶事 國際運輸社

オリテ

眞に價値ある

良いのが結局經濟では却つて不經濟

御奮發!

櫻井內科醫院





品切の節は直接御住文下さい!

振替東京四六六〇二 科學知

生徒募集奏奏者了了了不為一科

界先輩の研究を聴け▼運動と結核問題▼審判と記録▼丁 抹の諸賢並にスポーツ▼選手の健康問題▼スコアボード▼拳 闘全日本陸上競技聯盟▼子供とスポーツ▼競漕艇の設計▼ラ グラスポーツ醫事研究會▼聴器との關係▼競技場の照明▼庭 球 0 習科 研分 法學 究 解 は 製造販資





鈴

店

卓

報じ日本は戦争準備でもこてゐる 派に関し昨日来支那紙は大々館に 派に関し昨日来支那紙は大々館に ではの生命財産保護のため軍艦者 ない。

時局を奏上

我驅逐艦入港に

上海支那側狼狽

排日學生等影を潜む

日

まで、大野化に逸早く際、野麻氏の計 を接触したいさ申込み北方の大同原結 であるが名がらなく であるというでは、野麻氏の計 をでは、野水に、地域の事を一切水に して野菜の味られ目下銀作様氏を探数 を接触したが担絶され、又萬融製 を接触したが担絶され、又萬融製 を接触したが担絶され、又萬融製

王軍敗残兵

黑龍江

政權引渡

を要求

漸次四淮

作相軍と合體か

獨立宣言の張海鵬氏

局面急戦の氣勢が濃厚さなつ

5渡すに決意し、

B

エーて響減せんさするためさもいはれ 一部一海に集中しつつあるは日本軍の南 マ

目的不明、

行動注目さる

學良氏の妥協申込

韓三氏と単拒絕

森 木 龄 人行動 范代森木橋 人機調 蘇太庄下山 人與印 赴書一冊剛企业市連大 鞋板以關係軟件合大線 新行電

聯盟理事會に

各地派遣守備隊

所屬の根據地に

三、吉長線沿線に派遣せ
所屬根據地に歸還した

支兩

國

南京

すべく聊くて上海、南京を中心として政権の移動、軍隊の大移動近すに決意し、程に関する魔鬼館の姿況を飛続したで像へらる、第十九路軍は十五日頃王龍 一九路軍上海移駐 **弗十九路軍(元廣東** 耶カ子龍氏等は昨夜孔戦院氏駆で 東長市が支那側は一般に恐慌を埋 してゐる機様である 第四十次代表 會議延期

| 「「「「「「」」」」 | 「「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 表大會は軽廉整はざるために本日表大會は軽廉整はざるために本日表大會は軽廉整はざるために本日 漢口金融業者 對日取引 斷絕

に日本側銀行及び關係會社之一齊、工會等文那應金融製者は本日正式、工會等文那應金融製者は本日正式、

之にて彼我金融關係は完全に歌絶に取引を解絶する冒通告を來つた

一、鐵道附屬地域守備援助のため、大日階國際職監理事會に黙し左の、近き職兵に關する通告を送った。 製道沿線に集中 せられた

隊の百四十

られてゐた鐵嶺守備

日本

d

ろ

軍の力を以て漸く一千名にも餘一に閉鎖狀態に在り日本一、率天地方にては匪賊の横 六日職盟理事會に滿洲事變に關し んさす。

軍司令部の下に秩 に百五十名

日本人の居住危險 と排日

けのものゝやうに態はれるが、和林と一口に云つて了ふさ、それだ

| 単城、憲宗帝の撃いた者、夏、秋 | 単城、憲宗帝の撃いた者、夏、秋 | 東城、憲宗帝の撃いた者、夏、秋 あり、一塚で十五宮十五城、を

任の厚東新師團長前に離滿は残念

太郎中勝は七日出 により 養通寺第

電時分また日露 おり離れるのがせ

都會の風彩を持つたまゝ、地中に恰度ボンベイ市の夫れのやうに、 とつちみち和林さいふ大都會が

項に三る

口、歳果には排日運動熾に行はれ對日經濟斷に行はれ對日經濟斷に行はれ對日經濟斷に行は和對日經濟斷 時大連落外着の鎌定

議人一七日

切り



きのふ軍」の令部を訪

間した内田満鐵線

新な位で今未明入港せる騙逐隊 文が殿は二十四時間内に起るとの り事艦の驚愕が現振りは氣・さ支那人は逃げ出し又支那側に日 の事態の驚愕が現振りは氣・さ支那人は逃げ出し又支那側に日 に上陸するやそれに本兵の攻撃だ 邦人保護の為の 警備充實を中傷 支那側が國際的聲明を協議

この治安維持にはるべしこで金品の 一近に塗し縣長に使者な派し同方配 一部は既に新民屯附 至り強信相軍こ合體するもの、如 たが、外交部は斯く多数軍艦を派 渡しを要求して來た、ニスルピン特優七日登の終南に満に大手の無龍江省政府に向け可及的急速に政権引

の監禁説に野し各方面よりの調査 張景惠氏 雨派暗鬪の結果

收穫を何等かの 万法で公表する 電院議員 土方寧博士語る 内地人は滿洲實情に疎い

『ハルビン特電七日録』支那軍

長さする貴族院議員の一行は七 他見にて贈京の途についた。

大連丸に大久保子を訪ふこ同 種種

日鼻をつけたい 一懸案

此る中野し

世界にフーヴァー景氣が出るか

- ク株式大暴騰、又も

かれるの和林や黄金娘が総然気を選って、それは「職の影響市以後であった」

根数、さてフーヴァ

得ない。

全く以て驚かざるな

かか

こんな案が飛び出すか

江口滿鐵副總裁談 睹

上京用務其他監顧の審問題につき出入記者職さの定例會見において

府縣議戰の結

各派別の常

政府に政権の張波を要求す、ソロながに政権の張波を要求す、ソロな

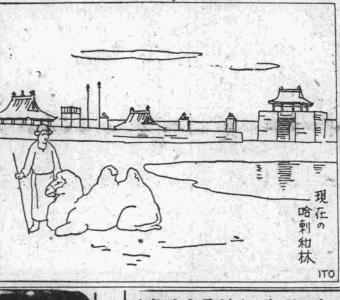
はなって、明の天下さなって、元を一本元璋が朝寒して、こうく一元を一 も、和林は依然さして蒙古の觀さ

数申

根







頭痛



!録記の實現なうやむ冷の血 ・品作特超期秋部劇代現活日

もれたさいふことは疑びのない

つかずに、黄金嬢に在るといふこ を売れられ一千箇の縦な、所持 成吉斯汗が凱旋した時に、 散 今日の僧値に直すさ、五億回は 旅行の目的 CID

は、黄金城をはじめさら、十五家 十五城その他の建物さ、幾十萬の 中田は呉龍々たる一大曠野さなつ 今日は呉龍々たる一大曠野さなつ 監在してあるばかりさいふ、 々たる大都の和林ばか

日

最つては晴れ、はつきりしない空 特に突然容等山野脈所より密東中 時に突然容等山野脈所より密東中 た、これは六日中黄河下流にあつ た、これは六日中黄河下流にあつ たをいこれは六日中黄河下流にあっ たが、七日午前八 たが、七日午前八 たが、七日午前八 たが、七日午前八 たが、七日午前八 たが、七日午前八

悲しみの埠頭

五百名突破

大連民政署の調査

新 一十五圓餘を奪び逃走した『長春電』 一十五圓餘を奪び逃走した『長春電』

を 九時より大連運動場で又郷生高等 全 大時より大連運動場で又郷生高等 を対験校では十一日午前九時より同

兩高女運動會

養桑じ同と乳母てつ補を分成のクルミナコや乳牛

朝鮮人救濟義捐金募集

界各國

酒類

食

料

00

すで品需必の養榮工人 すでのもるすに

\$

東京風菓子謹製

ビ漬場詰

澤酒

茶漬の

0

0

布唱

番入米玄

を開催する

三、募集締切期日は十一日二、義捐金額は任意とす一、義捐金額は任意とす

日、大連、奉毎、滿申各一月二十日とす

受領證に代ふい

何は書

及び各後社團體に於て受付をなす

プ

稼ぎが

は附近航行中の規克に数助された下四名にてそのうち一名を残し他

民政器の調査

踏場許可指令

天氣線報

六日以來の天候は晴れては熱り、

しない空

取験に長くても明朝までの見込み たったので、監師的現象を楽し温 はつたので、監師的現象を楽し温 に要してもである。低しこの

(日曜木)

H

六

八時代帝原武一少尉外二十名

接して次々に職無する市民の赤誠

和

木八つの箱に収められ香港丸で懷しい故郷へ旅立つた

か見送るため観々地

四、本のなど、秋風にハタめいてぬる約四の似立、秋風にハタめいてゐる約四の他はペランダに、屋上は町内像 市内を敷枝代表状徒は影盤に、そ飛ぎ市民の大地は単誠に集つた、 のもさに荒原少尉以

英郷を送るべく意大な低物な帯び、英郷を送るべく意大な低物な帯び、西海で融る、世界に残れている。 僧侶の護郷が初 遺品も納めて 持ち歸 護衞の,芦原少尉談

議論沸騰

各業別に協議

試合愈よ白熱化して

重にするこさとなった

アの危險器具に對する取締を觀響ではアルコールコンロ叉はラ

失火罪で告發

吉野町の火事

勝二敗

接戦

 $\frac{\Xi}{A}$

對零

【寫真は黒井技師】
【寫真は黒井技師】

で行うない。 市内吉野町廿一番地郷に が成の火災は一ケ月前出央した際、 実煙突っな壊し、 ないかさ大連製市が保険金融収の放火では ないかさ大連製市が保険金融収の放火では 変煙突っな壊低所から火を吹き、 変地に引火したこさが実明、 は、 ないがられるので、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるので、 をでいるのでは、 をでいるので、 をでいるのでいるので、 をでいるので、 をでいるで、 をでいるので、 をでいるので、 をでいるので、 をでいるので、 をでいるで、 をでいるので、 をでいるで、 をでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいるでいるでいるで、 をでいるでいでいるで、 をでいるでいるでいなで、 をでいるでいなで、 をでいるでいるでいるで、 をでいるでいるで、 をでいるで、 をでいなで、 をでいなでいなで、

黑井技師出發

阿片會議出席

一般解放治療

極東呼片會職が活

網兵もなく手持無沙汰であるため

世界野球選手

す、熊川少尉をはどめいづれも時計の類も一まこめにして白木時計の類も一まこめにして白木時計の類も一まこめにして白木

死んだ娘で

騙り損ふ 鮮娼の實父が 【東京特優七日壁】二勝一敗のカ ージナルス軍勝つか或はまたアス ージナルス軍勝つか或はまたアス

修ごと河辺伸がの柳晩新村號南一軍が勝ち殿車とも二勝二版となり 円鑑坂町遊殿朝熊料理店第二堂 たが、カ軍得監なく三人對家でア たが、カ軍得監なく三人野家で果代し デルフィヤのスポーツマンスパー 年後一時代よりカ

もう冬仕度の

や天氣模様

人陸高氣壓が動

香港地にて出数 純天津產 栗卸

解放し貧民に跳しては無料で治療 吉城市内支那人一艦民衆にこれな 甘栗太郎 始

遭難戎克救助

をなすこことなったが治療な受け、北日午前常時ごろ大孤山神合にての影影してゐる『長春電話』 「一般」となったが治療な受け、北田・川のでは、東組気は艦長の自然観してゐる『長春電話』 「一般」と、上智とりは前田巡査部長に接し水上智とりは前田巡査部長に接し水上智とりは前田巡査部長に接し水上智とりは前田巡査部長

メデクトル 電話九一三四番 科

咽耳 喉鼻 醫院

井波醻吉 90

90

日本各

8

産

樂

機棒大連三三四八番

川雷県博士が多年書級の結果治保上不さ激賞な受けて居る一子相構の破集でいて居らる。方々験解質の方の貸に確果である。 一日分三脚、廿二日分五側、廿三日分七副科内地十八銭、其他四十八銭 一田の地十八銭、其他四十八銭 一田の一丁百五器地 一大連市沙河口 置町二五大二七大連市沙河口 置町二五

渍

か

陳芝山(*)は失火罪で告發された

鐵砲打ち檢學

イマツの観取粉 數取總面 今津化學研究所大阪市西區京町堀通二

本品の名は蠅取粉でありますが、蠅以外の南京虫。ノミ。シラミ。毛ジラミ。少女の頭のシラミ。蟻の豪所の油虫。犬猫物でなく、四季を通じて各家庭に、是非物でなく、四季を通じて各家庭に、是非一罐は衞生上必要な常備薬であります。一種は衞生上必要な常備薬であります。一種は衞生上必要な常備薬であります。

東京帝國大學教授 應大學醫學部

野學部 糸川 野学博士 宮川 村 野学博士 宮川 村 野学博士

別とは一般を記述される。 院

蟲の氣も ぬけてマクニン

灰と共に 市民の眞心に送ら 悲 らばし き旅立

の地に壯烈な戦死を遂げた三十二勇士の遺骨は七日哀しくも白の地に壯烈な戦死を遂げた三十二勇士の遺骨は七日哀しくも白て一済の哀愁が漂つてゐる、こゝは御國を何百里……遠い異國 秋風颯々とし

て一沫の哀愁が漂つてゐる、こゝは御國を何百里…尊き英霆のとこしなへに滿洲の地から離れる日、玦

党監には戦争の整すら連れ忠和ない を離れた、同時に常誕生の吹奏す を離れた、同時に常誕生の吹奏す

撃退氏は六日

一部の家財道具を変称されている。 いっぱい アに派し 家天城 いる態情せらめた、

化代値下で

長に複雑された性につき大橋建飯 | ある | 本のピン・七日教 | 消歳ハルピン | 事務所は佐藤忠氏が生る九月十九 | 単様調査を要求し支那側よりの回ぶりに変していまる九月十九 | 単様調査を要求し支那側よりの回ぶりに変していまった。 于權爭覇戰

に ら大連被察員に破職法を依職して 地を奇貨に離る とて関係者を召喚取職るさ同時に さしに漫騒な恋。 を して関係者を召喚取職るさ同時に さしに漫騒な恋。 から金を巻き揚げんか野になる から金を巻き揚げん

支那人も

被害甚大

佐藤忠氏惨殺の 大橋總領事が鐘氏に

荷物引渡

國際で荷造

眞相調査を要

張學良氏の

前に然て動物祭典を撃行するさ 滿鐵慰靈祭

の好き鬼様にされてぬたが、我兵 を願して居たさ、なほ同が配の部 意願して居たさ、なほ同が配の部 意願して居たさ、なほ同が配の部 を所に散在し働えたる虎の好愛兵事 をありて居をして居てからいさ をがして居たる。なほ同が配の部 をがして居たる。なほ同が配の部 をがして居たる。なほ同が配の部 をがして居たる。なまる。

伊かがつて大事に類似の大を身に郷傷を置ひ、火は一配に郷 いつて大事に至らんさしたが消防で を身に郷傷を置ひ、火は一配に郷 の出鯨で流止めた、汗寒アルコ の大なとしたが消防で がつて大事に至らんさしたが消防で がって大事に至らんさしたが消防で がった。 番地張玉徳の一

1

7

蠅取粉

0

需要者各位へ謹告

ルランプに転火したま、アルコールランプに転火したま、アルコ 支那女大火傷

酒精ランプで

登滅限に於て開催する

電田県士の動画會な八日午後六時 の開催、研究設行等で、年二回研 の開催、研究設行等で、年二回研

日下同會本部事務所を大連職書館に成完合は人女科學の研究報告述による人女科學の研究報告述に満州によりな人女科學の研究報告述に

幸に付基だ年御無禮不取敢紙上を以て御芳情を 事は恐縮の外なく益々以て其の責任の重きを 事は恐縮の外なく益々以て其の責任の重きを 感する次第に候一々御挨拶可申上の處時局柄 に付基だ年御無禮不取敢紙上を以て御芳情を 関はりし諸賢に對し深謝の意を表し候 關東廳警務局長

率全安·率虫排の群拔 マクシゼリ お子様には

囘競技大 開 至十月廿五日 自十月五日

第

人賞者二十等まで優秀賞品差上ます ゴ

けふの小洋相場(正年)

· 清智內六名、

かゝるダンスホールは七日時間東から正式戦争の指令が突撃は「本舞踏場に常」のため使用するの外一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、」というないは、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、「他们の一般に公職するのが、」というない。

各地温度

主催

援

奉天每日新聞社

滿蒙研究會

催 新 大

振替 座大連一二三九番

大印に限る

田博士歡迎會で濱

九月上旬、紫東野會と様する人が一般学の研究會が組織されたが、同意は大連並に奉天に於ける同好の

たい名の製造の

三〇〇四五

俱樂部



等で従って

から 群介で できるのは がら 群介で での下野 できるのは が活成形で

蒙聢々

期目領征」「窯頂石版

思慈冒

明について種々噂とついあるが質方面ではフーヴァー大統領の

支那新關稅の

8本質

パと現狀

大暴騰を凝じた原因は左の治験を呈し諧株は二部が至し間株は二部が至

紐育の株式

我上海貿易業者

成行を靜觀

事件突發以來殆ど受渡杜絕 支那側は儲けをみすり

をの内容については顔る漠然さしりが出たが然とスチールは前日に 地もなほ八冊八分の三高で大引け 地もなほ八冊八分の三高で大引け での他の一流譜株は六冊/介至十五

米大統領乘出す

近く重要聲明發表か

大銀行家連ご秘密裡に會見

世界不況打開に

益々減少せん

最近の上海海運界

家畜の生産

極めて順調

有力な観冷家たるモルガンジョージ・ホイツトキー氏 ジョージ・ホイツトキー氏 ズ・ナショナル観冷康役會 ン氏、ナショナル観冷康役會 を長チャールス・ミッチニ イリアムボッター氏は昨日 ローク職邦戦齢観冷に然て

內下半期業績 大連民政署管

九月中

大連の特産各品

こく三日間の華商側損害

三十萬圓に達せん

株(保合)

四十六圓八十錢

理到 新型 新型 新型 新型 新型 一二車 一二車 一二車 一二車 一二車 一二車

大

大連件勢向) ・五五五四・四七二三 ・大連件勢向) ・五〇一 ・五〇一 ・五〇一 ・五〇一 ・五〇一 ・五〇一 ・五〇一

●營口行長順丸 ●名古屋行(東湖丸 ●名古屋行(東湖丸 一門司阪神行(長順丸 一門司阪神行(長順丸

●香港廣東行 一等五十個 山東丸 十月 大大

· 天 塔 油 上行 ●安東行

近海鄉船株式會社大連代理店 朝鮮鄉船株式會社大連代理店 日本式會賦大連代理店 日本式會賦大連代理店 大連市山縣通電話 (三七三九番 大連市監部通音整橋 大連市監部通音整橋 一二番

高 八十相 位段 相數

大激減諸雜穀輸出

各限につき記せば左の

印度麻袋 南筋直積 宝留比当かっ 青筋直積 宝留比当かっ

東京株式 新 10180 10180 位位 1080 11080

産況

☆ 五三 六 △ | | | | 限

0 特 〇銭より八回まで

製版所 2.109.2 3,318,2 6.0 77.9 1.265.2 674.9 436.0 363.8

めて氣栗に寝られる。

283.0 173.7 122,605.4 10.923.4 288.7 2.613.6 496.6 1.005.7 13.565.6 3,455.7 900.4 \$45.0 14.2 208.0 55.1 313,2 43.6 177.2 104 57.2 176.2 16.4 79.3 827.6 57.A 360.5 185.2 158.5 28,942.2 1.819.2

1.207.1 1.250.5 84.3 188.0 487.1

●門司字品行(照回丸 十月十九日 ●門司字品行(照回丸 十月十九日 一門司字品行(照回丸 十月十九日 一門司字品 着 十月些日午前七時 守品 着 十月些日午前七時 中門司 着 十月些日午前大時 中門司 市 着 十月些日午前大時 中間 司 着 十月世日年前大時 中間 司 十月世日年前大時 中間 司 十月世日年前大時 大連市加賀町三〇 松 浦泊行般株式 會 胜 Y., 135.00.

勉强

止安高寄

七二一兩の七二二兩一七二二兩二

人高 上 上 大連筋調質 上 大連筋調質 上

では、果然城三氏の名において安一城に外交部及び中央監 だされた。それと同時に撮影、李一この安協に猛進する事ー だされた。それと同時に撮影、李一この安協に猛進する事ー

支那紙の悲鳴

穏便に賴む

公安局が泣込む

過激なポスターを取締ると

が陸戰隊本部に

なる事、父第一艦隊が佐世保に入 を関へ本日の支把紙の社院は総郷 が化して来た、殊に國民政府機関

日

佐世保から四百名

的代形も最 る太便な味美

の直接突逐を即様するもので観ら

行政整理案

三日中纒らん

民政黨幹部會

首相、藏相の斡旋で

□四名地)政友會五三六名(一六 分の三で吹翫した 「東京六日登」 民政黨は六日午後 正金野英建 値 髪 史 より地が選駆に関する報告をなる 【東京六日登』 正金銀行は獣英悲とり地が選駆に関する報告をなる 【東京六日登』 正金銀行は獣英悲との四名地)政友會五三六名(一六 分の三で吹翫した

常根を訪問この職者を報告とたが なが、行政整理をは二、三日中には最後 の手打ちに至るべきものご見らる

さて神光を性関東駅 するのみで他は常減しない事に決 旨を述べ安保家様より支那在信服 人数に耽き報告し大體長江族に二 人数に耽き報告し大體長江族に二

駐兵費決定

皮革廠も休業

仕留邦 八を保護する

滿洲事變ご

英の態度

下院に於る答辯

歌を求むる答覧は四部では 世界

があった、町ち像箕鼠根を訪問権無い、七日午前九時

財政整理案

人名のこと

實現に努力

大藏省の意嚮

第二の反抗的

宅や

す

金剛書

南京政府には嚴重に抗議する 我政府の態度決定

州事變に関する一議員の質問に答

官憲と銀行結託

國際的通商妨害

個々に會見して融解を取めてゐる に對する各質の反對は猛烈を極め に對する各質の反對は猛烈を極め

家出の後合

察一の計しなしには、出られない 無持になつて唐る。彼さへ聴解し

吉長間秘密電話線切斷處分

松継飯の歌ぶであるご長春電話 概能祭に向った、尚吉林観察後遊館・記館サルスパリイ氏と共に吉

臨時派遣費

理に関する交換は一通り濟人だので数一瞬に関する交換は一通り濟人だので数一瞬日中には「見か難まるもな」は「時職」としてあるので六日午み後は「時職」としてあるので六日午み後は「時職」としてもるので六日午み

即年って居た。ひけ

登』六日の定館職器に於て南支那方館の情況に黙する政府の態度に就き協議の結果左の如

了しそれ以後の取引を絶對禁止一、目費は二十五日迄に登記を完

抗議文を訓電 物原外根は直に南京政府に観電抗議する事さなつた物原外根は直に南京政府に観電抗議する事さなつた機宜の處置に就ては安保海相は幣原外相さ協議の上質行するさして邦人保護に就ては大體護は「集中せしめ保護する事に集中せる内内容は首相外相協議の上決定す、なほ居留民の保護即ち軍艦派遣の時期陸戦隊上、各地の排目は兩國間の通商條約遠反で且つ居留民の生命財産の安固を期し難いから強硬な抗議。

『南京六日登』四日の特別外交委のでは、『

新芸した、斯くて非

整理案の管理に努力する事に内

してゐる

では居ない。 事美も、途中で見かけたお嬢を たのだが、寮一をたづれた教唆を たのだが、寮一をたづれた教唆を たのだが、寮一をたづれた教唆を たのだが、寮一をたづれた教唆を たのが、寮一をたづれた教唆を ながっても足が彼の下俗 なが、

米國務長官等

个院解散

りして躍つた。

けは、親切さうに云つ

彼は留守で、がつか

愈よ來る八日斷行

ろに彼の意葉までな、管葉の意味 「別におそくなるやうなこさは、他が居て、観婉に、云ひ駿めてく 「………」 ぎうしやうか、困つて立つて居 ざうしやうか、困つて立つて居 てれから――次の時は、揺よく てくれた。

る事美に

一被女の胸の中に支へて、親姉に、云ひ慰めてく

マ首相出馬

許ひ打合せた了し直に重光公使に誤電した、重光公使より七日國民政府に提出する。京六日發】今日の閣議で決定せる黙支抗議交は外務省で作成の上午後五時や幣原外 陸戰隊派遣 七日重光公使が提出

> 、日本軍の原駐地撤兵を條件で本人の安全を保護す 政府は責任を以て在滿日

| 東京六日發|| 上海一帯南支の排|| より車艦常盤に陸陸隊四百名を乗 抗日運動の 開始强要 命財産保険がな電命した 概、王戦戦戦氏に對し日本人の生 の二項を決定し國民政府より張信 對支問題奏上

若槻首相參內

| 漢日六日登]| 監地の説日 | 漢日六日登]| 監地の説日 | 数単の記日 | 数本の記日 | 五本の記日 | 数本の記日 | 五本の記日 | 五をの記日 | 五をの記日 | 五 の記日 | 五 野支問題につき奏上御下間に窓答 は平路順せつけられ一般政務がに に平路順せつけられ一般政務がに で、後一時三十分宮中に参内天皇原下

上海工業同志會

操業中止に決定

一割節約

日總選舉

電を解散し十月 で

職員さして終始し後断無候補者と下院解散に決定後余は依然勢輔態

宇宙

所の死命を制するは 重要を行ふ事を略決

六日大藏省議で決定

心財政案

信してゐる

摩徹氏地特別會批節終級を臨時の日午後一時代より復議を開き六年日午後一時代より復議を開き六年 植民地特別會計

朝果《單位萬個》

001111

を得て來年度像質は は五日上院を通過し

の部ができません。 南 本大々部ができません。 南 本大々部ができません。 南 本大々部ができません。 一 1000 一 1000 日 10

は てるるが、 國際職盟では支那岬の は 報告に欺瞞が悪じてるたことが鬼 明したこかで不人無を買ひ、通り 明したこかで不人無を買ひ、通り 画際職盟の態度が耐寒に過ぎするい こと、なつないの意度が耐寒に報告さる、や背談野は大に優勝したに過ぎずる、 では 一選の 学和動告を試みたに過ぎずる いっぱい できる こと ない は 大に 優勝 では いっぱい は 大に しまい は いっぱい は いっぱい

北に静表を提出した

を ごんな魅めの千萬歌よりも力強い のだが、彼のいふこさは、いつも FL.

取した後世紀に燃え北に向って、 動館も影響したのだで振撃良氏を がへてなやるから斯様な

他力本願望み無く

历日運動三努力

南京政府の満洲事變對策出

南京にて G・0

を製き上げた國民黨及びその政府 はその味が忘れられず、満洲事他 はその味が忘れられず、満洲事他 くさもパリ會議やワシントン會議 程度には嫌果のあるもので變成し で概か執つてかた。そのが針は直 が表してい新聞までがこの無方 に対いてからので変して ででない。 でではかいていました。 での政府 に対いていました。 での政府 に対いていました。 での政府

り献三日來要人間において箭々協 は大體において成亦體束無しさ識

英植民相ト氏語る

國際會議を召集

本位、戰債問題

ナルド氏は六日下院において左の

を添するさいふご覧を作て居るの を添するさいふご覧を作て居るの を添するさいふご覧を作て居るの 「では、僕のさころに來ておしま すると酸紫かお風呂にでし

さたつたで記云ってくれたら、 てお待ちになってらしたらやし 事美はかたくなつて佇んだ。 直してくれる。 さう云つて、好中はスリッパを 活

マ首相下院で演説

金融 公私 の無極いっロタルビン画製 原である既自質の消化第二階構の

全國五百有餘官 氣管支炎にブルー 中ケ月分 四間三十個

いっという。 では、あの暖、楽一を美しい 無様になって居る。彼さへ誤解したの事をは、あの暖、楽一を美してか てくれたら、家の雅しの立つまである。彼女の壁遇た、しみんくと臓 さうして親を助けることも、出来の音し、彼の壁遇た、しみんくと臓 さうして親を助けることも、出来のて居た。 かっては居ない。 まずし、窓中で見かけたお嬢さんで、またいよく、ど 事美し、途中で見かけたお嬢さんですのよ。たのだが、象一をたづれた教唆も なんですのよ。たつた五分傾前。 たのだが、象一をたづれた教唆も なんですのよ。たつた五分傾前。 ないことではないのだが――変りしたのだが、象一をたづれた教唆も なんですのよ。たつた五分傾前。 きゃく こうしても足が彼の下徹 途中でゆきちがひなすつた位です う一度、どうしても足が彼の下徹 途中でゆきちがひなすつた位です 疲勞恢復にブル C)n

虚弱兒童にブル

三国七十维

神経衰弱に、

貧血諸病に

强壯增進

2 800 山道幹記

算編成に

式

藤澤友吉高店

房泉

戦を突らし切って いっした世の中だ、だのにあの かうした世の中だ、だのにあの

の 事を置むなり落電にでも打たれた ラデオ係やテレビジョン係さいた でうに割まりぶつた。然しそれた のがある。同時に若し女服人が不を動えてゐた。 である。同時に若し女服人が不を動えてゐた。 である。同時に若し女服人が不を動えてゐた。 である。同時に若し女服人が不を動えてゐた。 とを離かす事さなつて居る。テレビホット

満洲から總理大臣

事務報告などにラヂオを使用

は事務室で煙草ものめず、私用速 る。でも今日は皆四、五分位職物出はまかりなられこさになって居

でが、リー間や艦馬の大力を開発を連りついた。 では、一月頃からでは、一月頃からでは、一月頃からでは、一月頃からでは、一月頃からでは、

演蒙問題

職士の内には多数の戦人職士加は町青年會館講堂にて開催されるが

ない太平洋の一番乗り

口監部通新大陸社主催の滿蒙問

青年會館で

失業京市

向ふ筈である。

關東廳醉今公五日附

學校訓導 山道 榮助

一七〇五二

大連近江团西広場角 電3910

|||辻

利

正隆銀行

花

留民職間のため八日本九時四十五 分東京縣養護滿する事さなつた、 一行は十一日京媛養装が縁天靜紫 な代表して本庄軍引令官その他な を代表して本庄軍引令官その他な が、一班に間談が離り上二班

がいてゐる。賦手で描ふて光線を遮 いてゐる。賦手で描ふて光線を遮 たものもある世の中だ。

你し無のさいた社員に皆者の 中時記版の大きの極中ラデオを持 中時記版の大きの極中ラデオを持

あれば、大連徹を一丸さらた大 東の一大棚殿をは持する大連大學 で、これに降職する誘撃館、北方。 を那金融の群を接れる大日華銀行 北方。

洋の一番乗り、早週り新記録、配き極み、口惜しても口惜し▲大西

して今度の太平洋島女空の征服▲

第一年 全型 11度0年0 三の 11度0年0

振りても 落しても 止らぬ時計

脚野にならね▲「でかしたりや、 一でかしたりや」さ只数縦や呼いて でかしたりや」さ只数縦や呼いて があたる連中の能なさよ、いや脚

七百兩を割ったので當市引際急騰

海標金後場が日本民間におい

不時計

當市急騰

5亦一半の責任を発れ、滿鐘

日

吹するさ共に、その合同的細い小賣邦商の店舗家賃問題たかされて数生したものである

再吟味の必要

| 廿七日鶯城子驛を距る約三キロ、 | て偶然茂時代の塊塞と思ばれるも 通する道路を新設工事中去る七月 | 旅職線×路より五十米の地監に於 原東廳土木課が旅艇より間水子に | 前牧坂縣西方約一、五キロ、落銀

折紙をつけて研究

のか登州戦いて八月十七日既にそ 郷のものより戦百米東がに然で前後

◇ホテル飛徹所が満洲から触れて

つて養掘保管の上荷古墳の學術能の養掘直に旅順博物館員の手によ

を申込む候等の機嫌ある可きでの問題であつて我等が歌て掀騰を楽してゐるならそれは自ら別

職進出は我等

連直。 に起いたなすべく京都奈大教護選出 ありまた古墳研究の第一人者であ あが、まる五日入港の香田丸で來 あが、まる五日入港の香田丸で來 であるが、まる五日入港の香田丸で來

でに見り構造で内部は二重さなり一でに見り構造で内部は二重さなり、観り窓に線穴をしかもその四壁には悪き粉を現て描かれた天人、人は悪き粉を現て描かれた天人、人は悪き粉を現て描かれた天人、人

なの事情が明かれの今は

は支室内正面の壁画にされることとな

はり眺めた壊薬入口 なり眺めた壊薬入口 より眺めた壊薬入口

◆定期後湯(最近)

一町田龍市連大 一四一二話電 「同川ED井長

漢時代の壁畵を残す

城驛の博墓發掘 考古學界の權威者濱田博士が

本テルの洗濯所 を解目大連洗療薬組合の有志家が 消機繁展を訪れて大流銀の經感 するヤマトホテル機酸所の鍛錬 するヤマトホテル機酸所の鍛錬 するやマトホテル機酸所の鍛錬 では、ここは味酸機我々同業者

迎款書投 すらさは傷力

がを飲めついあ

交涉問題協議 日露漁業條約

金三民

大豆軟一人気引立す

文簿活房 記版

四八〇〇

1110,00

市の東新は三圓四十銭毎に引は新市の東新は三圓四十銭毎に引は新

1四1100

部

满蒙地 富

滿鐵地質調查所編 饒隆縣

内地株引安

况中

新豆聢り

祉

●一般看板●美術工藝の業 板

永井婦人 女醫 電話三六六六番 人醫院子

上版し▲だが傾き云つても能の太平洋を飛びきつた像がはまつても能の太平洋を飛びきつた像がは像赤だ▲

ら出てよ、そして出來る事なら小せめて構成でもいく日本人の中か

麻袋見送り

辻

産婦人 婦人の病は婦人の手で

食料品 部川

は附送御地内 すまし致包小

ウヅラ粕漬が

满場広西

一、性性体験報り設分。 (第一新練養株引貨分) (第一新練養株引貨分) (第一新練養株引貨分) (第一新練養株引貨分) (第一新練養株引貨分) (第一新練養株引貨分) 上田貞夫殿名義 (第二新株養材別費分) 上田貞夫殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 (第二新株養材別分) 井元勝助殿名義 文三郎殿名義

屋文 號化

阪日

一億一千百萬圓見當か 要に際し暴戻なる支那軍を撃破し 作田高太郎の四代議士は今時の事 作田高太郎の四代議士は今時の事 民政黨慰問團 八日夜東京發

されたる方のものは恐らく東洋一のものと見明したが疾に後に登掘したが疾に後に登掘したがない。

鑑定により変化のものさ

見たものは飛ぎ情無であらうこの

珍重 すべき物で全世界の

中度失業救濟

住の鎌定で突然は贈還後開始の管事官は十五日頃離京モスクワへ歸

大連組合銀行

級八艦のが被の安全な中心に約四 を程厳大完全なものでその形態は を程厳大完全なものでその形態は

手形交換高

原案を作成

三九通西連大 掛五七五八電

單に經濟的理解な難及利權等の全処

二番

前編

満蒙鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 満蒙鐵道

送料十四錢

查

満沙及接壤地 近地沿圖

でした。けれざしこのごろは、それでした。

へませんでも

なって変を長くするやうにちぎりました。これからまたあちこちさがしたのです手にいつばい極れな

億次はいつ

題つていきました。けれごもごこなあつめてすごすごと次のお家な

ださいさは信次にはやはりい

でもこさはられてしまひました。

もた。

てくれたのです。低次は、あって、おばあさんがみなかい

わたしがみなかつてあげませ

えあの山のうらですつて。これや「おまへきんの家は、ごこかれ。

の花がさいれてあるの

かげに、おみ

すきな花な、かつてにえらぶんで

「男の子が花うりなするなんてお

ました。信吹は、根の方から、ないだなつけたせの低いなでも

郎 (上)

風が酸のがからひえびえさふき」のうちでは若い奥さんがるて、花花をうりさばいへぬました。 にさはいべませんでした。二粒目花をうりさばいへぬました。 に 皮同じことないつてかつてくださ できたばかりの大きなアメートが りもつらひきもちがしました。二

町はつれになってるました。芸年山の向ふは日あたりのいと話で

されないこさは、おひだされるよ

一ぶのです。能次は、どうせかつて、松ぶりのいと、驚の勢いのかえら

もちふんだからしかたがないさお

れおちてきました。桔梗の砂

めい働いて、やつさた。信次のお父さん

かされませんでもた。信次の専用がおした。信次のお父さんは、一所けんた。信次のお父さんは、一所けん

備の薄いが配かれらつて

けば必ず足跡が残ります

人が物らない時にはその等後策をおして対して、本と不幸にして此等の窓を受け犯

かれたりしないで直警察に属て頂 あやまらわやう、さいふのはその

集合場所 大正 特記……解析は午後三時の際でです。 特記・……解析は午後三時の際でです。 新聞

おにぎり、風呂敷、新聞紙

ひざい被害もないやうです、傑年のですがこのが敵も日本軍の緊備のですがこのが敵も日本軍の緊備

日

景氣の深刻化に

土に樂

愉快なお芋掘

滿日婦人團員親睦の爲の催し

奮つてご参加下さい

計蛋白四·三カロリー一〇九· 肉七匁菠稜草、鞍、香の物少と 材料玉子一ケ半(二十四匁)。

智能的犯罪が 増る

これから殺伐な事件がおほい 大連警察署 千葉司法主任談

特別な重い割に處せられるのです。にはそれん、系統がありますから ・ も脚版の等は続いだらうさ思います、しかし残りは一般に人の無がます。から残り時ですから血なまぐさい。 一般に人の無がまるからが呼呼起らなさは五へませんの一般に人の乗がまるからがあいるとは、 の 記事が多いのに反し です、で今の状態では州内も野地から微等にさつては酸に辛い次第 くのですからこの大事な謎謎をな てす、発程も申むまむたやうにこ

はては切ったり刺したりする事性 り、コンドロが相索な強なやったり、コンドロが相索な強なたやった。 をいふに季候から水も線ボ沙汰になった がらいよくと響症の要があるこは があます、一般の方々も頻をゆるめ にはそれんへ歌総がありますから らしたり引つかき難したりして市街地へ潜入するでせうが、彼等」さはれば感す指数が残ります。 方な見ても犯人の大概の見窓につ たしたり引つかき難したりした縁 た製造で、ルビーのやうな機像の あるのや、機もたわいに製が置って あるのか見たり、平和な牧牛たち がのざかに避んでゐるのをながめ がのざかに避んでゐるのをながめ です……するご強くのなながめ です……するご強くのが とです……あのやはらかなずって です……あのやはらかなずぬ から です……あのやはらかなずぬ から です……あのやはらかなずぬ。 こいおいもながなてる興味はさったの中からボックリこ大きな丸つ

の松林に聞まれ

人参おろし扱素

こんどの学振りデーは一つには皆といふ多数を沿線を地の出動軍人といふ多数を沿線を地の出動軍人といいる多数を沿線を地の出動軍人 マへ揃取 L 富豊 を 地生白 種 各 当の 間 専 は 深 別 餅 即 切 紋 即

夏は無料、擦帶品は簡単なおに がはなるべく多数おいで下さい、 するためのものですから際夏の は素がな混ぜています。 し適宜に丸めてよく煮立つた油の 中で掛げ、これた味醂で無油をませた池で煮て鰆さ盛合せ香の物を を味噌さ酒を混ぜた 蛋白八・〇カロリー一六四・

滿日婦人團員

芋掘りデ

十月九日午前十時集合

をされたらなほ便和でせう、 を変が、 用意下さい、 等を包む新聞紙で見る数を御 の枝でも間に合ひませうが関盤用 の枝でも間に合ひませうが関盤用 の枝でも間に合ひませうが関盤用 以一で味をつけ前のもので盛合せます。 別がり茹でてバターでいため鑑渉機 がり茹でてバターでいため鑑渉機 で味をつけ前のもので盛合せます り、菠薐草は細く髪からす干ご野の

野人名郷さか同窓會長名郷さかた な人、祝共が「魏祗打ち」さいつ てゐるのも概酷あります、これは であるのも概酷あります、これは であるのも概能あります。これは であるのも概能あります。これは であるのも概能あります。これは 出版中家に留守店してるためさん 付くので、もし一度これに聴じや手に入れ同縣や同窓と聞つて泣き

金

充分用心してこんな経 るにつれていよくな妙になってた智能的秘報は不影響が歌刻にな ないやうにして頂きた

の洋服をかたられたり されましたから」さいつて着換へ すが脱炭がのなの数 たおつけ下

素に、しかも身軽に願いますせんが傾により服装はなるべ お辨當の

勝山洋行

となってしまふではないか、心をなってしまふではないか、心をかたこささのぼっていきましたをかたこささのぼっていきました。 はげましながら、セメントの際酸がおった。とめつぼい風が心 て話子にませ砂糖、酔油で味なった時り、既と波務草をバタでいため、原と波務草をバタでいため 見童问きです。●玉子焼きはどの佃煮(二二年) 三階の端の家におばあさんがあま て焼鍋にバターを敷いて焼 一五三。

江戶城心中春秋編笠節

牢獄の花嫁

處女爪占師

なる快筒雄第近来の快作。 ので、日下キングの人類の鉛質に 深質的興味に著者の素晴しい名筆が がでは、日下キングの人類の鉛質に のので、日下キングの人類の鉛質に のので、日下キングの人類の鉛質に

貝

殼

平

ファンを設数せしめた傑作。大阪朝日新聞二百萬の讀者を熱社せ大阪朝日新聞二百萬の讀者を熱社せ

金

朝・剣難女難・馬を近作歴明的人氣を集めたユニキ

線 爛たるこの集積十五卷

!

0

見よ!

神變麝香猫

は唄ふかん

ん蟲

第 絢爛たる豪華本

金忠輔: 一色刷挿畫廿枚 愈進行 全十五卷

十月廿日 申込金なし

既憲染色變へ全十五卷十五色の諧鯛美育金文字函入平色箔押豪華美本。

グ切

回配本開始

難 志村 立美齋藤五百枝

けぶ雷鳥 銀河まつり

出來榮えです即刻お求め下さい本日全國書店へ發送濟!素晴し

14.13 12 訂坂東俠客庫・一領 魔婦職のない名にのの美と見改坂東俠客庫・一領 魔婦職のかない名にのの美と見 女來也・飢えたる事義隊、張のローマンナック作品の始。 戶 上が 場門が帖と前び得される快作。 報知 せしめたと言ふ人気作。 報知 は 医 近来まれに見る快長常・耐ない場が大手を出版とする。

りなき八容の興味と感激! りなき八容の興味と感激! カンラスをの興味と感激!

門

4

3

3

地

を名長篇! た名長篇! 本 印 象 最初の熱筆にして最大の快作。
古川氏のみが覗き得る小説が世界た
吉川氏のみが覗き得る小説が世界た 一色別刷の 一色別刷の 一色別刷の 一色別別の 一色別別の

すきない。

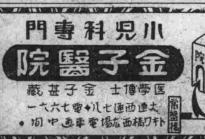
の結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なくして現代に生き得る資格はあり得ないのです。大衆文學の分野が、文壇不振のの結合なられた譯です。未刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々として執筆中にある呼び物の諸となった。本刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々として執筆中にある呼び物の諸となった。本刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々として執筆中にある呼び物の諸となった。本刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々として執筆中にある呼び物の諸となった。本刊の傑作、既刊の改訂、今なほ孜々として執筆中にある呼び物の諸となった。大衆文學の分野が、文壇不振のなるに、今秋はじめて、近業の巨篇懸車、率獄の花嫁なご、氏の劃期的力作の完篇に達した。なるこれによった。大衆文學の分野が、文壇不振のなるこれに表された。大衆文學の分野が、文壇不振のなるこれに表された。大衆とは表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表された。大衆とは表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表された。大衆とは表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述といる。大衆として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述といる。大衆として執筆中にある呼び物の諸となるこれに表述といる。大衆とは表述といるこれに表述といる。 か御聲援をお願ひいたします。
この快報を告ぐるを以て近年の快事とするものです。ごうました。欣んでくだざい! 本社は全日本の吉川フアンに、ました。 驚くべき集積は繞爛と讀者諸子の渴望のまへに展かれ めた!この一 この全集 はがきで申込めば

內容見本

直流者何處へ行, 変し、一直流水者何處へ行, のない 興著滿洲問題の基質









秋色濃かな風情

● かな質りを有する節らしさな ・ で感じるというでは、秋の彩点される。 ・ であり、では、秋の彩点される。

つたので六日

を受ける。 を対しる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。

不穏の行動

敗殘兵の集團

■ 大川歩兵約千二百名、騎兵百 公安除は傍観の数さ 負傷者經過よく 漸く愁眉を開

長春の衞戍病院に 和やかな空氣流

鋸で戸を挽破つて射撃

避難邦人當時を語る

一士の遺骨 天蚕立守備隊の新國伍

豫備軍曹の縊死

安東神社の裏山にて

死に至つた原因は

の患者に警告す

、異國人種より傳染したる病毒 は極めて猛毒性を有し頑固な す効なし、この場合特製リベ ールは物凄くこの猛毒性淋菌

使らんさする店ありご聞く、 さ見ればなるべく利益多きつき 近来リベールを購けんさする少

直接申込めれ送料不要送票す。 でもんさする店ありご聞く、萬一品切の節は養實元へで見ればなるべく別益多きつまらの機を官業方みに押し入ればなるべく別益多きつまらの機を官業方みに押し扱いという。

兵鐵嶺へ

リウマチス、 を整いでは、と多数性とある形性であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるから安静にして安美数を内であるからない。

る來出の賴信然斷

人自

リウマチ

淋薬な

統稅局の撤廢 を

神經の痛

安東憲兵隊の意嚮 全郎のよいこ 吉林 か に飛行場 際に特性をさせんさは

は全く平穏に輝して低等平常で表現して、一葉花樹の近に一大飛行場の設置の事で常地大内組の手にて省城北方線を去る数二キの手にて省城北方線を去る数二キの手にて省城北方線を表した。 く概立自治能な敏器せること既報 の歴政を離れて覚生の途を識すべ の歴政を離れて覚生の途を識すべ に新市政教器 自治機

しびれ引つりのれ

訪るゝ頃 冷•

本語は往時せんきすばく板巻きとない。内部して四十歳以上の丈夫さらない。内部から安東でで後継さればデキに陥る。内部から安東でで後継さればデキに陥る。内部から安東でで後継さいなどがあると地震で呼ばればデキに陥る。内部から安東では、大きない。 額面神經痛と頭痛

| 本外の主なる代理店所在地

帝を拜受

船に衝突

大大学の大学の の一、では、大学の では、 の一、では、大学の では、 の一、では、 のでは、 の

戰死

際標底に脱て膨大に軽行式は來る八日午後二時よ

一般に機道東總部所智成に施れたる當地市側が 地域に五日紅牛噌の なに強いたる當地市側隊

士告別式

The Most Powerful and Reliable Medicine for Gonorrhoea

本邦製治淋藥リベールが海外諸國に於て最も勇敢に數多き歐米治淋藥を壓倒しつゝあり而して醫藥兩者間に大なるセンセーションをまき起すに至つた。 現代治淋藥の第一人者として內外人間に絶力殺菌性尿と化し放尿時みごと殺菌作用を持ふを以て今迄憂鬱なりし患者も服藥翌朝より替へ難き爽快なる氣分を威するに至るその藥効の説明は茲に千萬言を費すよりも多くの體驗者の實話若くは 五日分の試配に由つて事實を知られよ。

歐米先進國にも 特製リベールに優る

う旅生果日り

海軍御 問用

井町正入商店 接替口座大道三八五四4 接顧 明日 町市 場の

(2) 木村屋墓屋 /文=子

貨物用折詰調製 シュークリ クリ 四六舖

朗かな家庭的ホール 敦賀町 サービス…是非一度…… 日支英 料理 と 觚 鼻的 食堂満

田村商會職支店 軍話正一〇牌

賣及修理

リベール臭を放つて排泄す此 リベール臭を放つて排泄す此 する。

本劑の優れたる點は

、今迄尿道に繁殖しつゝあつた 、今迄尿道に繁殖しつゝあつた

、間セーラ型女生徒服 何も彼もレベルを下げて 學生服部開設 全 ゑびす 200

是是服店

エーヤコンロ教育中 開橋 各種ト神器一式調整品 一大脚 大神器 一式調整品 一式調整品 一式調整品 一式調整品 具門一家道 緒 方商店

旅順乃木町

4 順た物名で各 玉 旅 順 驛 前 月見農園賣店 電話六二〇番 旅順市月見町 月見

內案 農

本ん

旅 順 商 店

本日より五日間 冬物 敦賀町 大 渡 **直**

内地海外到る處の薬店に販賣す 安元 竹村製 劑 所 村 幸 次 郎 斯斯斯 竹 村 幸 次 郎

廿十七五 七三日 日日中 分分分分

新田五十二古公七里記念文文 衛田五十二古公七里記念文文 神無料、独ら處の東西に有。 マニモ美田洋意下さい。 大連連鎖衛本町通 電二二二〇二

線往

貸家 種々わり

の教職であらうが目下犯人殿探中部の歩幅に向け教職とたものありまた同九時頭環察庫歩階の野上にまた同九時頭環察庫歩階の野上に 大打撃な撃り窓に飛年住みなれる 守備隊を慰問

百

藤田會頭より

九

步哨に發砲

郷軍分會復舊

り代表者二名完備院に出頭協助の り代表者二名完備院に出頭協助の り代表者二名完備院に出頭協助 の り代表者に対したが四日

これ以上改良進歩の餘地なき本年の最新型 廣告の優劣よりも
質物の優劣が總でを解決す
むて真の
で理想品を
北較研究
で記書

有煙炭完全燃焼の理想品(権目を201本構造)

天隆成田 原 福山萬加 松前 田組支 泉 家金 井住 西 金物 金物 双 洋洋 。商 商 物 物

日

沙州

に援助がゆぐ事に明合せたさの結果差離り城内特定額の有力者とは法院長其の他を搭集して協議

奉天に强盗

財政職もが收入減のため如何でも 等法院と緊財政局とが負擔してゐ 等法院と緊財政局とが負擔してゐ 等法院と緊財政局とが負擔してゐ 等法院と緊財政局とが負擔してゐ 方が時局のため給與の途絶へ地方。

長春は賑ふ

佐支 佐本 町代 名・和産館本町経緯 七五四八巻・八五二二章

電

賞宗 空原衛一丁目四六番地 賞二○四 電二一八二○番 ・ 本地住宅兼事務所 日陸公司 電二一五五三

食料缺乏

からは三十九級二百四十名に過ぎ はり少く滿洲在住者にもて來遊れまり少く滿洲在住者にもて來遊れる者四十五級此人鼠四百名、內地長る者四十五級此人鼠四百名、內地長

輸組九月業績

が なであつ

弓道段級試驗

【奉天】六日午前十時十分成小西 池門神路北郷野歌瀬歌」。方に 池川神路北郷野歌瀬歌」。方に 池大り家人を神道の上現洋八十 元、窓駅八直元を磯郷も裏口より 流、窓駅八直元を磯郷も裏口より でしたせんさするのか自衛駅終設が

荒川委員上京

■購買傳票 取扱高八千三百七十五個三十六錢、取扱店救九九店使用ケ所五十一ケ所、使用人員六百七十八名

大會に出席 窓デに放て五日午後七時から全滿日本人會勝に候窓陽から生田地委職長、田 棚に候窓陽から生田地委職長、田 大台縣

移局長は関東際に田

大学家 新築高線六、六、三龍田 ・ 大学家 林源堡新築フバトス、 ・ 大学家 林源堡新築フバトス、 ・ 大学家 林源堡新築フバトス、 ・ 電ニー九〇 ・ 電ニー九〇 ・ でニー九〇 ・ でニー九〇 ・ でエー九〇 ・ でエー九〇 ・ でエー九〇 ・ でエー九〇 ・ でエーカー ・

安

東

海、周家壁を呼び圓滿に解決を遂

(日曜木) 幸较 「秦天」軽天城内支人間には七日 より四日間城内に入れる決死間で 城外にゐる支那官観さ協力とて一 際に立ち窓天市内、滿鏡な塵聡す るさの識部類りにいたるが全く真 を措くに足らぬものであるさ 奉天に謠言

決議文を提出 厚東中將出發

洲 里 能りの準備に取掛つた

冬籠りの準備 衛立守備第二大隊の勇士二名の北大管に於て名譽の劉列九司に では六二念代で過激したので在住 一般に放て名響の戦死を選げた 北大徳に放て名響の戦死を選げた 北大徳に放て名響の戦死を選げた 北大徳に放て名響の戦死を選げた

戰死者追悼會 操作、監破機能は 動物であるが六日東海林中隊長 より出動部隊を代表も居住氏一同 への動脈形が 建春もた 慰問袋に感謝 熊岳

時間の概事駅に変めた結果百三十 大名に塗したので配は一先づ批場 大名に塗したので配は一先づ批場 り至急を含式な響ける響であった り至急を含式な響ける響であった。 締切つたが慰問袋は總計一、九六、市役所に於て取扱へる慰問袋並に

旅順商工協會

六四九番

女給夢集 聖徳街二丁目六〇番地 地方・ツ・ギオ 環九九一四番 勤通

井奥服店専働裁雑部

西公園二五 岡部紹介所門添婦料金量低鹽網相談 岡部紹介所 大連接番前電話へ九四八番大連接番前電話へ九四八番大連接番前電話へ九四八番大連接番前電話へ九四八番

皮膚梅毒

大変 では、 大変 でな では、 大変 で 皮 軟 性 素 病 病 病 病 胜 中野 院醫 -00万電·五二町野吉連大

運送店

東京電与に参上致じます 一時間修繕 一時間修繕 松橋·科兒川·科内 子展井帝 医叮 子族并带 医耳 醫井 五町都敷連大 掛六六〇六電

竹下商店曜三九三〇

音器

電設ンゲトンレ 正 行田 山

左ル入町狭若

大は出特機・シストの店裏の店裏小外機である。 堂主風呂崎 ージ、あんぶく 濟生醫院 表頭市三河町ニ

門專科内

診療開始 大連市神野町一二四 牧野沃度診療所

大連西通·常盤橋·西廣場中間

理話七五二八番



肺肋膜、

中婦神人無無無病痛

四広バ西通電車道

信壽堂

窓四二八〇番

院 院 大連市岩代町十番地 電話八五九九番

病

キュウリ

せきづ

0

をおれ、基本のでは通常の移動で時間に 解びつけて透心配する種の事では ないと言って居る 就低機能の計算出づる處あつた。
に使り就低保留中の處三日正式に
に使り就低保留中の處三日正式に
に使り就低保留中の處三日正式に 阿部氏就任

できるの危険品を

旅

自警團を改組

古着斯田書房連載

本郷軍人職の自警職組織以來市中 のコツ派送スッカー験をひそめ一 所治安の維持目的が整成されつ、 新るが目下連夜巡察を信つてゐる 神経より六十歳送の老肚者勢く他

が良好であった

満

日案内

會の四ケ所で答所さし転換地寄せて来たらから今回は範長二名に自動の巡察十数名つ、置き整理せられたり極めて平置。 ***

乾麵麭を配給

送り杜絶地の奥地

居留民大會

市林居留民會様上に開催すること地方林居留民會様上に開催することを表示したが其戦権として六日登 戰死者追悼會

九日に逆上つて戦事経典ななすこれに逆上つて戦事経典ななすこれ日に逆上つて戦事経典ななすこれの事徴で移動し

方事初所社會係※申出でられたと 三属の本年度蔬菜品料會は二十一 二の兩日窓際地方事務所前機選武 場に然て開催する出品希望者は地 蔬菜品評會 出文有事の際における訓練さるな概算人 にあらざる部胱年をも打つて一般 させる自警院を組織し至極合理的 させる自警院を組織し至極合理的 氣の背野年は希望があつても加 に努めついある 出荷組合問題

月

たもの、戦後料は一

旅順戰蹟見學

例年より激減

長

春

女給 さん八用像過す 一大店員 十七八歳より十四五歳迄 一大河道三五番 十七八歳より十四五歳迄 十七八歳より十四五歳迄 フラー部

シン

ニチ ロバン 電話七六八五 張速町一丁目裏通 日露飛行 大津 ボーズ 天樂堂

門札が東京が、電八六七五番三河町池内電八六七五番

東領三十球 春園五拾銭 東領三十球 春園五拾銭 東領三十球 春園五拾銭 東領三十球 春園五拾銭 蓄

質

電七四三五

新古質金

貸衣窓

三浦屋

吉光

佐井田洋行 庫

引越荷造



國院



サテナ月印をお用る下さい。 野子の方の

アレ止め、お肌の栄養アレ止め、お肌の栄養 月印をつけてお顔を

お他紙下に、自粉落しにお拭きになれば ウテナ月印グリー

誰方様にもぜひ必要でどざいます。お肌の榮養クリームが 脂肪を含んだ

000

(MONTAL)

大連伊勢町(吉野町角)

亚=麻雀其他

ウテナ月印クリーム



店商吉政保久幣本·京東

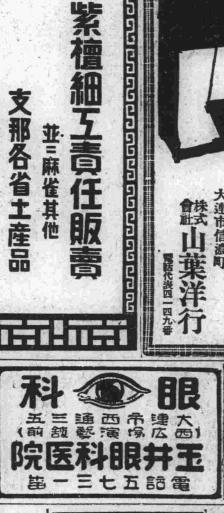


でさい特に御便利な月賦改正値段カタログ御申込 販賣も致します









敷物流器 家果裝飾

容美の秋 作用が特別に緩和で、 顔面と 先づ第一には肌膚に適つた石鹼です。

しつどりと整つます。それから良い白粉です 何方の肌膚にも必ず適つて、柔軟に且 〇ミッワ石絵

併も爽然と落ちて了ふ 即に方 ど水保ち致します 剝落ちず、驚くほ 質に美しく仕上り 洗ひ整へるかは から水刷毛すれば 分ります。乾いて 附けて見るとすぐ 如何によく肌膚を ミッワ石鹼が サーワ白粉を

ト ら 高 ・ 南 京 忠 軍 全 滅 参 察 燈火親しむる 気見と装飾は 机上 主要なる技術家諸氏 工學士 平野の品質向上の為に日夜 樂學士 不能の品質向上の為に日夜 樂學士 不能の品質向上の為に日夜 樂學士 不能の品質向上の為に日夜 樂學士 不 野中正夫氏 小平 助氏

本 額 京京 0丸

学生二名も

商大生、警官隊と衝突 學生教授亂打さる

重輕傷者が五十餘名

商大學生頑張る 二千餘名が舊校舍で

シカゴ六日教』アメリカの犯罪 審理

妮く呼吸症靴で昏睡の診臓にも苦一の貨隊者中見玉章一Cとは内出血」けるりと平げ九時より上田標士は脓性を振像したものと「で概論する事となつた、なほ撃生」は米二衣と深壁二機、【東京六日養】監管に繋げされた「 解を懸へてゐるのでエッキス光線」から戦権した大緒で禁

(下圖)忠靈塔前の式場

上田博士は呼吸困難

犯罪王カボネ

學習院に新設

明春新學期から開始

| 東京特體七日整|| 薬族や名土の子菜を乗へるだらうじてあた目的の學習院はさかく世間から非確を受けてあたが ・ 大度寛社會に即する作業科の一科目を新設し大體明春の新學 ・ 大き寛社會に即する作業科の一科目を新設し大體明春の新學 ・ 大き寛社會に即する作業科の一科目を新設し大體明春の新學 ・ 大き寛社會に即する作業科の一科目を新設し大體明春の新學 大阪市に於て し統制の完成

千四百九十八圓の増加を示してる

物の下寮である、悪に治敷谷府縣 数 量里 の関係に戻ては一味

これを降いた除手達 「失業者がであるが、脳出すこすぐ池を吹であるが、脳出すこすぐ池を吹

電託教師を廢

界任者が巡回教授

大連、奉天、撫順の三支部を除き

満鐵の柔剣道

大連市信濃町市場前電話七〇八七番

若し元散野使用禁止は健康の興 ならば、それは心配御無用だ、 ならば、それは心配御無用だ、 のおをなけれてるのは必ず元就戦を用いてるた場だ、そこで内地では 無然無を用ひれば走れわやうな

日、公主衛二 日 岡裔五段)開原

名歌を保つてゐるのだ。

改装記念さして當 動車代は弊食堂に 動車代は弊食堂に 上に限る す但し 御三人樣以

保保(美)足野左の如し

、口長者(茶)

城(张)五十

客(銀)

カクテルを召しまれ 野店獨特の五日

品

電話三二二三番

新裝なれる地下の王國

特約販費店 製造養實元

丸裕

公公

司司

是非お試しあれ

彼女!!秘藏のサービスも女給の言葉が山出しだつたり、まづいカクテル飲まされたりすれば誰しもダアーとなります。まして客のユーモアに供笑出來ない女給のワンサ居るカフエーよ!!のろはれてあれです。
でまれ!!此の憂鬱な大連カフエー群を斬新なサービスと清澄な味管でノツクアウトするべく夜間純粋な・・・・・五品に改装致しました

は年内部 よって直に客種の歌劇を掛て得る 住 の概本 突通最等の微獣とこれに綴の大水 つた 呼の委員會も來稱一月法延辦さな「十四名、葉診九百五十名、今訛一で本月中職館の學定であつた第一 九月中の耽擬が依赖は被診二百四軍省の檢閱が約二ヶ月を要するの 大連體易保險健康相應所に於ける への第一回委員會は 連市都市計畫

九月中の成績

らず六日午後五時十分長春に引き場げた『長春電話』を懸なく捜査したが窓に登見に至り場げた『長春電話』

負傷した戦友に

佐藤氏死體

滿洲

日

報社

他かれ着連

大三氏、同歩兵上等 車に移され佛教職艦の電網の壁に 御第二大隊第四中隊 の戦友に護られて驛頭用意の自動 野戦に名譽の戦死な 再び日布に覆けれた殿道骨は三人 奉天の戦死者遺骨

業對滿鐵

, 硬式庭球戰

來る十一日に舉行

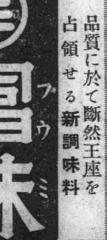
茶種の共同販賣 統制される ボンアミー 央軍艦出港 入港中だつ

大阪販賣斡旋所の成績

内科專門

櫻井內科醫院

なられ、さい **興に價値ある** 良いのが結局經濟では却つて不經濟



大連市連續高店街本平通 電話二二九 萬泉刄物店 雅的大連三二四八番

同時に納入されたし (単位の)金三圓五十銭の割合にて申込がは一小間(一坪仕切)金三圓五十銭の割合にて申込がに申込まれたし (単語大三四番具名及所要小間数を明記し本社事業部(電話六三四品希望者は十月十日までに出品人住所氏名、製作者名品希望者は十月十日までに出品人住所氏名、製作者名 大連民政署横空地にて 十月十六日より十八日まで 房器 毎日午前九時より午後五時まで 具展覽會

初日の申込は百七十五

マる事さなり一般の映画を集めて が所得我能報問題で陪審員を選定 が所得我能報問題で陪審員を選定

他いた茲は一層出22へ人の心に强 した排げた佐藤上等兵が北大党の では、近畿と、近畿に白い鎌帯を では、大学の 日下協科醫院 新語三五六七十五 郵便貯金增加 島良 全量電車

品切の節は直接御住文下さい!

振替東京四六六〇二

識普及

大連出戦の香港地で内地に破ふ大連出戦の香港地域で内地に破かを遂げた大に安置され七日大戦を変けた地に安置され七日 | 東京六日教||連協領教表、九月| | 東京六日教||連協領教表、九月| | 東京六日教||連協領教表、九月| た地加せり

生徒募集 月特輯號出た 邦文タイプライター科英なタイプライター科 連 記 科

(規則者郵券二組)權話四三〇八 知りない。一般を対して本ののでは、

若狹町四四電話三八一 洋

は 種各



形 学知 端 月

特輯

80

